
熊本県立美術館年報

■平成27年度

はじめに

熊本県立美術館の運営につきましては、日頃からご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。平成27年度の展覧会事業、美術品等の収集活動、教育普及活動などの概要をまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。昭和51年（1976年）3月4日に熊本県の芸術文化振興の拠点として開館した当館は、平成28年（2016年）3月に開館40周年を迎えました。当館では平成27年度から平成29年度までを周年事業期間と位置づけ、開館40周年記念事業を展開しています。平成27年度では、7月以降に開催した4つの展覧会を周年記念プレ事業と位置づけました。

当館の基幹をなすコレクションの展示につきましては、「細川コレクション」と「美術館コレクション」の両分野ともにテーマを設定した「特集展示」を展開しました。細川コレクションでは、第Ⅰ期「細川茶わんまつり!」、第Ⅱ期「能の世界」、第Ⅲ期「南蛮文化と細川家」を特集しました。一方、美術館コレクションでは、第Ⅰ期「藤田嗣治とフランスの画家たち—エコール・ド・パリをめぐって」を特集したのをはじめ、第Ⅱ期と第Ⅲ期の美術館コレクションの常設を通じて、多岐にわたる当館のコレクションを核として幅広い企画に取り組みました。

特別展では、春から夏にかけて「印象派のふるさと・ノルマンディー展」を開催し、印象派のモネや外光派のブーダン、コローやクールベら写実派、色彩の魔術師デュフィなど北フランスのノルマンディーで活動した画家たちの創造の軌跡を辿りました。日本とフランスの文化交流が始まって90周年を迎えたことを記念する「日仏文化協力90周年」の日仏文化交流事業として開催しました。また7月以降は開館40周年記念事業を開始し、「親子でみる美術展 二の丸動物園」「戦後70年記念 浜田知明のすべて—銅版画・彫刻・油彩画・スケッチによる浜田知明の全貌—」「ジョルジュ・ルオー展—心揺さぶる魂の色彩」「日本遺産認定記念 ほとけの里と相良の名宝—人吉球磨の歴史と美—」の4つの展覧会をプレ事業と位置づけて開催しました。「親子でみる美術展 二の丸動物園」は、かつて頻繁に開催していた親子で楽しむ夏休み企画を復活させたもので、動物を表現した絵画や工芸などを熊本県博物館ネットワークセンターの所蔵する動物の剥製とともに展示しユニークな企画となりました。「戦後70年記念 浜田知明のすべて—銅版画・彫刻・油彩画・スケッチによる浜田知明の全貌—」では、熊本生まれでわが国の戦後美術を代表する版画家で彫刻家の浜田知明の全作品を一堂に紹介しました。戦争体験を通して切り開かれた独自の世界に因んで戦後70年を記念するものと位置づけ、熊本県立美術館友の会の設立40周年記念事業として友の会との共催で開催しました。「ジョルジュ・ルオー展—心揺さぶる魂の色彩」では、世界有数のルオー・コレクションとして知られる東京のパナソニック汐留ミュージアムの所蔵品により、独自の精神世界を開いたフランス絵画の巨匠ジョルジュ・ルオー（1871-1958）の壮大な画業を紹介しました。「日本遺産認定記念 ほとけの里と相良の名宝—人吉球磨の歴史と美—」では、球磨を代表する中世の仏像と青井阿蘇神社などが所蔵する神仏習合美術、「相良三十三観音」の古仏群、球磨の歴史を物語る慶応大学所蔵の古文書「相良家文書」等を一堂に展覧しました。平成27年度に人吉球磨地域の10市町村が「相良700年が生んだ保守と進取の文化」として「日本遺産」に認定されたことを記念して開催したもので、地域の文化と歴史にスポットを当てた画期的な企画となりました。

美術品の収集活動においては、往年の熊本城の全景を描いた赤星閑意の《熊本城図》と、藤田嗣治（レオナルド・フジタ）の版画《裁縫道具のある静物》を購入したのをはじめ、細川ガラシャの消息を含む三宅家文書や坂本善三の油彩画、浜田知明の素描や彫刻など計12点の作品をご寄贈いただき、収蔵品の一層の充実を図ることができました。教育普及活動では、特別展に関する記念講演会、ミュージアムセミナー、子ども美術館、スクールミュージアム、実技講座などを実施しご好評をいただいております。調査研究活動としては、平成20年度から継続している永青文庫からの預かり美術品調査を引き続き実施し、平成27年度は大名調度類の調査に取り組みました。

開館40周年を契機として、古今東西の美術等を網羅する「総合美術館」としてのヴィジョンの実現と当館ならではのアイデンティティーの確立に向けて、「超える」をコンセプトに時代や分野、洋の東西などの枠組みを超えて事業に取り組み、社会や各世代と広く繋がりながら多彩な魅力に満ちた美術館をめざしてまいりますので、皆様方のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成28年9月 吉日

熊本県立美術館長 田崎 龍一

目 次

I 沿 革	1
II 施設・設備	
■施設・設備の概要.....	4
III 事業の概要	
■平成 27 年度年間スケジュール	9
■展覧会記録.....	11
■浜田知明室.....	25
■装飾古墳室.....	27
■教育普及.....	28
IV 資 料	
■観覧者状況及び事業報告.....	33
■収蔵品の概要.....	41
■購入・寄贈図書目録.....	48
■委員会等名簿.....	49
■その他.....	51

I 沿革

昭和43年 3月25日	県議会において文化資料調査費予算 50 万円可決
昭和43年 5月10日	「熊本県文化資料調査実施要領」制定
〳 44年 3月 3日	松本喜八氏兄弟から亡父（嘉平次氏）の遺志により美術館建設基金として1千万円寄附
〳 44年 7月 1日	「熊本県立美術館基金条例」公布 1億円の積立
〳	県議会において美術館建設調査費予算 100 万円可決
〳 44年 8月 6日	「熊本県立美術館建設促進協力会」発足
〳 45年 5月10日	「昭和 44 年度熊本県立美術館建設調査報告書」作成
〳 45年 6月 2日	「熊本県立美術館建設準備委員会設置要項」制定
〳 45年12月 8日	建設準備委員会より「美術館建設に関する答申書」の提出
〳 46年 3月20日	「熊本県立美術館建設委員会」発足
〳	「熊本県立美術館建設準備室」設置
〳 46年 5月17日	美術館建設委員会で美術館敷地を現在地に選定
〳 46年 9月20日	建設委員会より「美術館収集に関する意見書」の提出
〳 46年 9月30日	「装飾古墳調査報告書」作成
〳 47年 4月 1日	前川国男建築設計事務所に美術館設計委託
〳 47年 8月31日	熊本城二の丸史跡調査完了
〳 47年10月31日	美術館基本設計完了
〳 48年 3月31日	美術館実施設計完了
〳	美術館建設敷地の樹木調査完了
〳 48年 9月17日	装飾古墳レプリカ制作委託
〳 48年12月 8日	チブサン古墳石屋形模型製作委託
〳 49年 5月17日	美術館建設着工
〳 50年 5月24日	美術館定礎
〳 50年 7月 1日	「熊本県立美術館条例」公布
〳 50年 9月14日	美術館本体工事完了
〳 51年 1月31日	美術館外構工事完了
〳 51年 2月24日	美術館工事落成
〳 51年 3月 4日	美術館開館
〳 52年 1月24日	美術館別館（多目的室棟）着工
〳 52年 9月10日	別館（多目的室棟）竣工
〳 54年 6月28日	「熊本県美術品取得基金条例」公布
〳 60年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
〳 61年 3月25日	美術館屋外排水設備改修工事完了
〳 61年 6月 4日	第 35 回全国美術館会議総会開催
平成元年 4月 1日	美術館条例（観覧料等）の改正

平成 2年 4月 1日	美術館条例（観覧料等）の改正
ㄥ 3年10月 1日	美術館分館着工
ㄥ 4年 5月	野田壁画室工事完了
ㄥ 4年10月 1日	美術館条例（使用料）の改正
ㄥ 4年10月 9日	美術館分館工事完了
ㄥ 4年10月20日	美術館分館開館
ㄥ 4年12月19日	収蔵庫増設工事着工
ㄥ 4年12月27日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事着工
ㄥ 5年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
ㄥ 5年10月15日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事完了
ㄥ 6年 1月 3日	収蔵庫増設工事完了
ㄥ 8年 3月	ハイビジョンミュージアムシステム設置
ㄥ 8年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
ㄥ 8年11月	美術館本館空調設備、展示室改修工事着工
ㄥ 9年 8月	美術館本館空調設備、展示室改修工事完了
ㄥ 10年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
ㄥ 11年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
ㄥ 11年 6月28日	障害者の社会的活動への参加の促進のための関係条例の整備に関する条例公布（観覧料減免）
ㄥ 11年 8月18日	美術館利用規則（休館日等）の改正
ㄥ 11年10月23日	行幸啓
ㄥ 12年 6月21日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」設置
ㄥ 13年 3月	開館 25 周年記念「蒙古襲来絵詞展」開催
ㄥ 13年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
ㄥ 14年 1月16日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」より館長に建議
ㄥ 14年 1月31日	館長から美術館協議会に諮問 美術館振興計画として決定「ミュージアムプランくまもと 21 ～開館 25 年 100 の提案～」
ㄥ 14年 2月	美術館本館屋上防水工事着工
ㄥ 14年 3月	美術館本館屋上防水工事完了
ㄥ 16年 2月 2日	美術館本館渡廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事着工
ㄥ 16年 3月17日	美術館本館渡廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事完了
ㄥ 17年12月 8日	非常用自家発電機更新工事着工
ㄥ 18年 3月17日	非常用自家発電機更新工事完了
ㄥ 18年 8月	開館 30 周年記念「エコール・ド・パリ展」開催
ㄥ 18年10月	開館 30 周年記念「熊本県立美術館名品展－精華－」開催
ㄥ 18年11月 1日	美術館利用規則（開館時間）の改正
ㄥ 18年11月10日	美術館本館 第 6 回 JIA（日本建築家協会）25 年賞大賞受賞
ㄥ 19年 1月 5日	美術館分館展示室 1、2、3 クロス塗装工事着工

平成19年 1月 8日	美術館分館展示室 1、2、3 クロス塗装工事完了
〳 19年 1月30日	美術館本館 1、2 階展覧会場クロス張り替え工事着工
〳 19年 3月30日	美術館本館 1、2 階展覧会場クロス張り替え工事完了
〳 19年 6月25日	永青文庫展示室整備建築工事着工
〳 19年10月 3日	美術館条例（使用料、観覧料等）の改正（H20.4.5 施行）
〳 19年11月26日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事着工
〳 19年12月18日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事着工
〳 20年 2月29日	永青文庫展示室整備建築工事完了
〳 20年 3月14日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事完了
〳 20年 3月17日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事完了
〳 20年 4月25日	細川コレクション永青文庫展示室開館
〳	開館記念展「細川歴代の文と武と美」開催 （第1部、第2部：4.25～12.24）
〳 21年 9月17日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事着工
〳 21年10月 9日	美術館条例（指定管理者制度の導入）の改正（H22.4.1 施行）
〳 21年10月24日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事完了
〳 21年12月24日	美術館本館水蓄熱槽ほか空調設備整備工事着工
〳 21年12月30日	美術館本館水蓄熱槽ほか空調設備整備工事完了
〳 22年 4月 1日	美術館分館 指定管理者制度導入
〳 22年 4月28日	美術館条例（観覧料の減免）の改正
〳 22年12月22日	美術館条例（利用の許可の基準等）の改正（H23.4.1 施行）
〳 23年 8月18日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工
〳 24年 2月28日	美術館トイレ改修工事着工
〳 24年 3月 6日	美術館条例（協議会）の改正（H24.4.1 施行）
〳 24年 3月28日	美術館トイレ改修工事完了
〳 24年 3月30日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事完了
〳 24年10月31日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事着工
〳 25年 1月15日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事完了
〳 25年 3月15日	美術館条例施行規則（使用料の返還）の改正（H25.4.1 施行）
〳 25年12月27日	美術館本館事務室屋上改修工事着工
〳 26年 3月14日	美術館本館事務室屋上改修工事完了
〳 26年 3月24日	美術館条例（観覧料、使用料）改正（H26.4.1 施行）
〳 26年 5月21日	美術館本館空調熱源ユニット修繕工事着工
〳 26年 7月 9日	美術館本館空調熱源ユニット修繕工事完了
〳 27年 1月13日	美術館本館エレベータ改修工事着工
〳 27年 3月 9日	美術館本館エレベータ改修工事完了
〳 27年10月29日	美術館本館大規模改修工事（I期）着工
〳 28年 3月18日	美術館本館大規模改修工事（I期）完了

Ⅱ 施設・設備

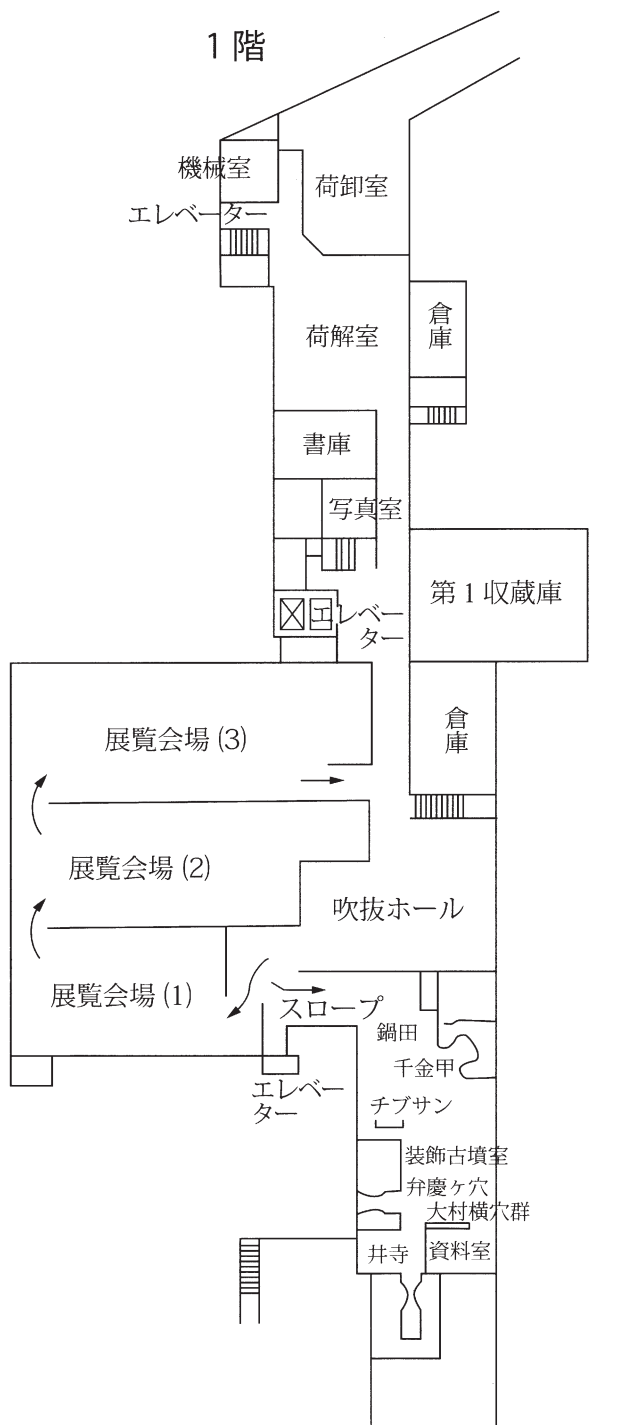
■施設・設備の概要

		本館	分館
所在地		熊本市中央区二の丸2番	熊本市中央区千葉城町2番18号
設計監理		(株)前川国男建築設計事務所	トレース&ラペニア・大和設計共同体
施工業者	建築	(株)間組「酒井建設工業(株)」	浅沼組・坂口建設建設工事共同企業体
	電気	(株)九州電気工事「村上電気工事(株)」	太陽電気(株)
	空調	(株)大阪電気暖房「協電機工(株)」	上田商会・三祐建設建設工事共同企業体
	衛生	(株)日栄工業「(株)西山商会」	広域設備工業(株)
工期		昭和49年5月17日～昭和51年1月31日 「平成4年12月19日～平成6年1月3日」	平成3年10月1日～平成4年10月9日
面積	敷地面積	14,200.00㎡	4,071.43㎡
	建築面積	3,446.40㎡	1,797.15㎡
	延床面積	7,942.85㎡	5,084.62㎡
構造		鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
		地下1階、地上3階	地下1階、地上4階、塔屋1階
仕上	外壁	珧炉器質打込タイル	石張り(会津石)
	屋根	軽量コンクリート、保護モルタル	銅版張り
設備	電気設備	契約電力516KW、自家発電装置	契約電力460KW
	空調設備	ターボ冷凍機、空調7系統	空冷式冷凍機、空調機7、空調機16
	衛生設備	上下水道使用、受水槽30㎡	上下水道使用、受水槽35㎡
	昇降設備	エレベーター3基(乗用1、荷物用2) ダムウェーター1基	エレベーター2基(乗用1、荷物用1) エスカレーター3基
	その他	屋内消火栓、炭酸ガス消火設備 ハロンガス消火設備	屋内消火栓、ハロンガス消火設備

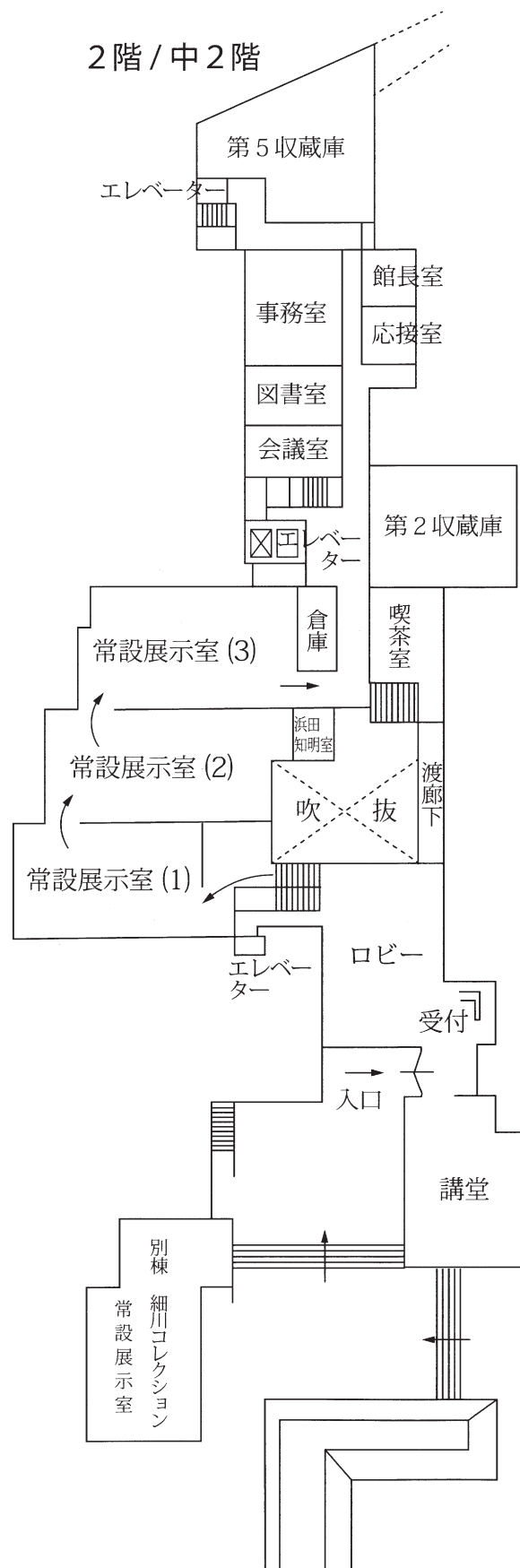
部門別面積

本 館				分 館			
部 門	室 名	室数	面積 (㎡)	部 門	室 名	室数	面積 (㎡)
展 示 室	装 飾 古 墳 室	1	339.37	展 示 室	展 示 室	3	933.47
	常 設 展 示 室	3	902.98		ギ ャ ラ リ ー	1	158.20
	展 覧 会 場	3	1072.64		彫 刻 広 場	1	56.00
	小 計		2314.99		小 計		1147.67
収 蔵 室	収 蔵 庫	5	1062.51	収 蔵 室	収 蔵 室	1	149.42
利 用 施 設	講 堂	1	176.56	利 用 施 設	フ ロ ン ト ホ ー ル	1	62.30
	ロ ビ ー	1	361.69		図 書 室	1	71.44
	吹 抜 ホ ー ル	1	361.04		A V 室	1	79.20
	喫 茶 室	1	88.47		喫 茶 室 憩 息 室	1	154.21
	そ の 他	1	43.41		ロ ッ カ ー 室	1	11.56
	小 計		1031.17		救 護 室 / 授 乳 室	1	9.24
別 棟 細 川 コ レ ク シ ョ ン 常 設 展 示 室	展 示 室	1	160.20		売 店	1	20.00
	そ の 他	1	186.60		小 計		407.95
	小 計		346.80		事 務 室 ・ 他		177.99
事 務 管 理	事 務 室 ・ 他		2434.51	事 務 管 理	機 械 室	4	338.80
	機 械 室	2	752.87		倉 庫 そ の 他		2862.79
	小 計		3187.38		小 計		3379.58
	計		7942.85		計		5084.62

美術館本館見取図

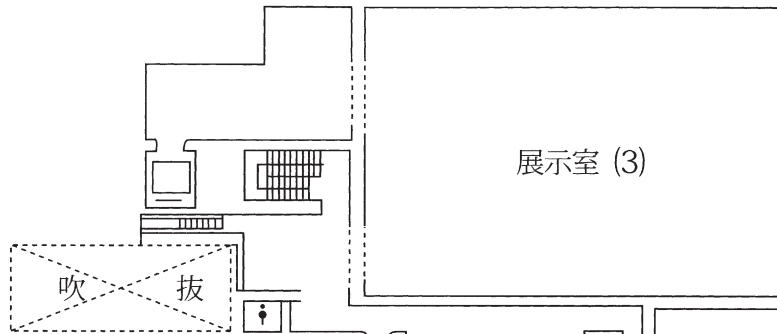


(地下・3階 略)

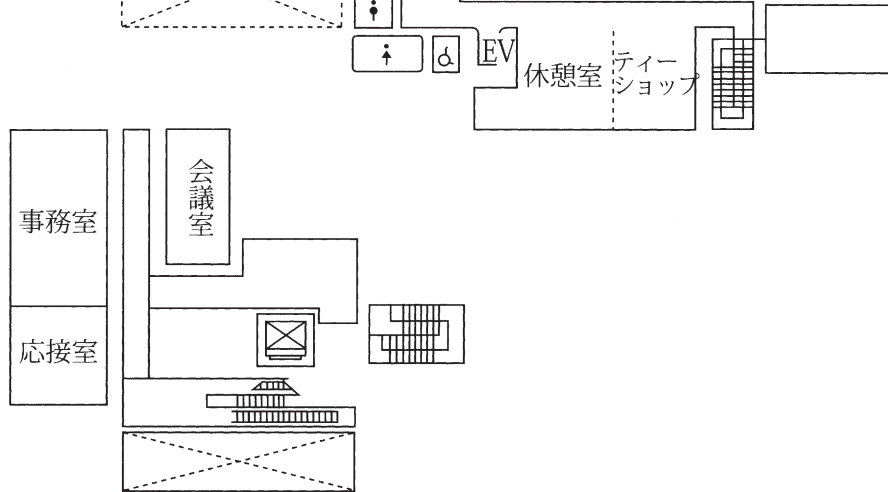


美術館分館見取図

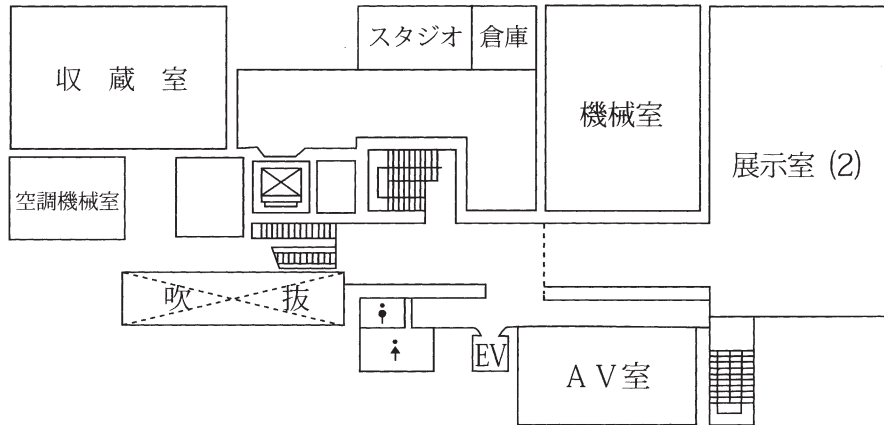
4階



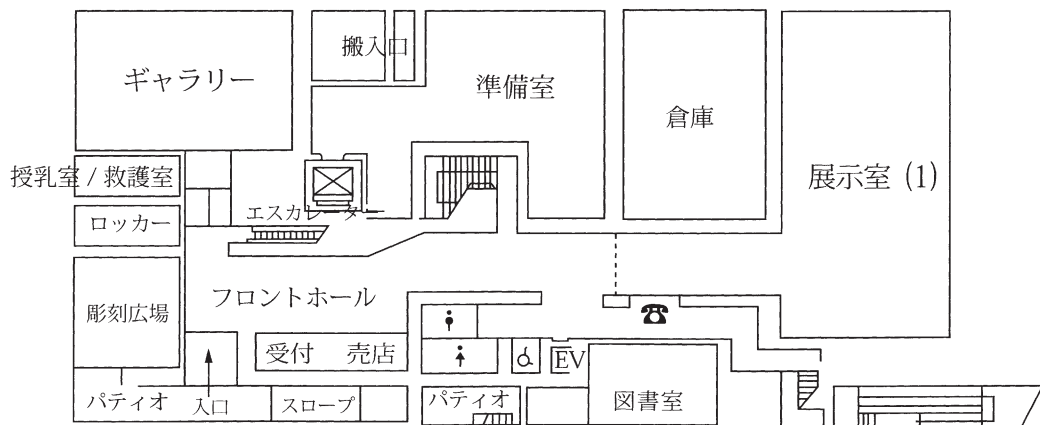
3階



2階



1階



Ⅲ 事業の概要

平成27(2015)年度熊本県立美術館年間スケジュール

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																															
本館二階	美術館コレクション 特集 藤田嗣治とフランスの画家たち —エコール・ド・パリをめぐる— 4/4～6/28			企画展 親子でみる美術展 二の丸動物園 —描かれ、造形されてきた動物たち— 7/11～10/4			日本遺産認定記念 ほとけの里と相良の名宝 —人吉球磨の歴史と美— 10/14～11/29			美術館コレクション 常設 12/5～12/23																																	
本館一階	エヴァン ゲリオン 展 ～4/12	印象派のふるさと・ノルマンディー展 —近代風景画のはじまり— 4/18～6/21			第34回熊日新鋭・ 児童書道展	戦後70年記念 浜田知明のすべて —銅版画・彫刻・油彩画・スケッチ による浜田知明の全貌— 8/1～9/13		第70回記念県美展	ジョルジュ・ルオー展 心揺さぶる魂の色彩 —フランス絵画の巨匠— 9/25～11/23		第43回熊本県美術 家連盟展	第40回熊本県高等学校 美術展・第19回熊本県高等 学校写生大会優秀作品展 第56回熊日書道展	崇城大学芸術学部卒 業展・大学院芸術研 究科修了展	年末年始休館及び第一次改修工事による臨時休館 12/28～3/31																													
別棟展示室	細川コレクション 特集 細川茶わんまつり! —400年かけて集められた珠玉のコレクション、一挙公開!— 4/4～6/28			細川コレクション 特集 能の世界 —能を彩る能面・能装束— 7/11～10/4			細川コレクション 特集 南蛮文化と細川家 —忠興とガラシヤ、異国との出会い— 10/10～12/23																																				
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																															
分館四階	第33回美術文化 熊本支部展	第55回 白鷗書道展	第32回日洋会 熊本支部展	第3回ヒールリングア ー展	第29回日洋展・九州熊本会場	第27回熊本県シルバ ー作品展	第20回熊本県水書道展	第15回熊本県水書道展	第51回熊本県高等学校書道展	第38回尚綱大学書道展	第42回学生学童書道展	第51回熊本県高等学校書道展	第13回くまもと子どもの美術展																														
分館二階	清和小型条幅書初展	第24回日専連全国・ くまもと児童版画コン クール	第28回紅華会 書道展	第3回ヒールリングア ー展	第27回熊本本の建築 家作品展	第31回熊本県シルバ ー作品展	第31回熊本県水書道展	第15回熊本県水書道展	第51回熊本県高等学校書道展	第38回尚綱大学書道展	第42回学生学童書道展	第26回くまもと子どもの美術展	第26回くまもと子どもの美術展																														
分館一階	第32回日洋会 熊本支部展	第24回日専連全国・ くまもと児童版画コン クール	第28回紅華会 書道展	第3回ヒールリングア ー展	第27回熊本本の建築 家作品展	第31回熊本県シルバ ー作品展	第31回熊本県水書道展	第15回熊本県水書道展	第51回熊本県高等学校書道展	第38回尚綱大学書道展	第42回学生学童書道展	第26回くまもと子どもの美術展	第26回くまもと子どもの美術展																														
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																															
ギャラリー	うえき絵画愛好会 展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展	第37回虹の会 版画展																														
会期	3/31～ 4/5	7～ 12	14～ 19	21～ 26	28～ 5/4	6～ 10	12～ 17	19～ 24	26～ 31	6/2～ 7	9～ 14	16～ 21	23～ 28	30～ 7/5	7～ 12	14～ 20	22～ 28	28～ 8/2	4～ 9	11～ 16	18～ 23	25～ 30	9/1～ 6	8～ 13	15～ 21	23～ 27	29～ 10/4	6～ 12	14～ 18	20～ 25	27～ 11/1	3～ 8	10～ 15	17～ 23	25～ 12/6	8～ 13	15～ 20	22～ 26	27～ 1/4	5～ 11	13～ 17	19～ 24	26～ 31

■ 展覧会記録

第Ⅰ期 細川コレクション

〈特集〉細川茶わんまつり！

— 400年かけて集められた珠玉のコレクション、一挙公開！ —

会 期	平成27年4月4日（土）～6月28日（日）
開催日数	76日間
会 場	熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK熊本放送
特別協力	公益財団法人永青文庫
協 力	肥後銀行
観 覧 料	一般210円（160円） 大学生130円（100円） 高校生以下無料（ ）内は団体20名以上の料金
観覧者数	8,478名
担 当 者	山田 貴司



趣旨とその成果

千利休の高弟であった細川忠興以来、細川家には茶道具の名品が数多く伝来し、その多くはこんにちまで公益財団法人永青文庫に受け継がれている。本展では、その中から茶わんをピックアップ。利休好みから人間国宝作家の作品まで、400年かけて集められた茶わんを一挙公開した。

同時期に開催された特別展との相乗効果もあり、通常の特集展示よりも多くの観覧者に足をお運びいただけた。会場では茶わんをじっくりご覧になる観覧者が多く、「図録はつくりませんか」という声も多く聞かれた。

なお、常設展示では、細川韶邦所用の三斎流具足《栗色革包紺糸射向紅威胴丸具足》、《領内名勝図巻 上益城郡矢部手永之内》、《領内名勝図巻 八代郡種山手永之内》、平福百穂筆《予讓》など、細川家ゆかりの名品に加え、細川家の茶道具に関する古文書等も特別展示。別棟の特集展示とあわせてご覧いただいた。

関連行事

6月14日（日）子ども美術館

内 容：「茶わんまつりだ！みんなで作ろう」

参加者：39名

6月20日（土）ミュージアムセミナー

演 題：「細川忠興の茶道具収集」

講 師：学芸課参事 山田 貴司

聴講者：146名

第Ⅰ期 美術館コレクション

〈特集〉 藤田嗣治とフランスの画家たち

—エコール・ド・パリをめぐる—

会 期	平成 27 年 4 月 4 日（土）～6 月 28 日（日）
開催日数	76 日間
会 場	熊本県立美術館本館 2 階展示室
主 催	熊本県立美術館
観 覧 料	一般 270 円（190 円） 大学生 160 円（120 円） 高校生以下無料（ ）内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	8,484 名
担 当 者	林田 龍太、村上 哲

趣旨とその成果

藤田嗣治（レオナルド・フジタ）を軸にパスキンやキスリングなど 1920 年代のパリで一世を風靡したエコール・ド・パリの画家たちや、ルノワール、ヴラマンク、ローランサン、ピカソ、シャガールら巨匠たちの作品で、当館の所蔵するフランス美術の粋を紹介した。20 世紀前半、エコール・ド・パリの画家として活躍した藤田嗣治（レオナルド・フジタ／1886-1968）は、幼少期の 10 年を熊本で過した本県ゆかりの画家である。当館では、2002 年に藤田全盛期の 1923 年の名作《ヴァイオリンを持つこども》をコレクションして常設の核とした。さらに藤田の渡仏 100 周年を記念して「レオナルド・フジタとパリ展」を開催するなど、藤田嗣治を日本とフランスを繋ぐキーパーソンとして位置づけ、企画や収集を展開している。また平成 26 年度に収集したキスリングの《ル・ベック少年の肖像》は 1920 年代半ばの画家最盛期の傑作で、藤田嗣治との交友を通じて、海老原喜之助などわが国の洋画家たちに与えた強い影響が窺われ、フランスから日本へと連なる美の系譜を伝える内容となった。他に常設展示として、当館所蔵のコレクションから熊本ゆかりの近世絵画を紹介。平成 26 年度の新収蔵品からは、大正・昭和期に活躍した熊本出身の日本画家、高浜虎喜（1894～1964）の作品を関連作品とともに展示した。

関連行事

5 月 10 日（土）ミュージアムセミナー

演 題：「戦後美術と熊本」

講 師：学芸課主任学芸員 林田 龍太

聴講者：36 名

第Ⅱ期 細川コレクション

〈特集〉能の世界 —能を彩る能面・能装束—

会 期	平成 27 年 7 月 11 日 (土) ~ 10 月 4 日 (日)
開催日数	75 日間
会 場	熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
特別協力	公益財団法人永青文庫
協 力	肥後銀行
観 覧 料	一般 210 円 (160 円) 大学生 130 円 (100 円) 高校生以下無料 () 内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	4,072 名
担 当 者	才藤 あずさ



趣旨とその成果

能は歴史的に武家との関わりが深く、江戸時代には幕府や諸大名の庇護のもと、武家の式楽として隆盛した。細川家は諸大名の中でもとりわけ能楽愛好の気風が強く、能の太鼓の名手として知られた細川家初代・幽齋や、桃山時代の演能記録から度々シテを舞ったことが確認できる2代・忠興など、代々の当主が能に深く親しんだ様子がうかがえる。また、永青文庫には、江戸時代を通じて収集された能面・能装束をはじめとした能道具が伝来するほか、能番組や謡本などの能楽資料が数多く伝えられている。永青文庫所蔵の能道具の一部は、長らく当館に「預かり品」として保管されており、文化庁の国庫補助事業及び永青文庫常設展示振興基金による悉皆調査を経て、平成 26 年度に能面・能道具 178 点が正式に寄託された。本展では、新たに寄託された能道具を中心に細川家伝来の能楽資料を展示し、近世の武家文化を彩った能の世界を紹介した。

関連行事

7月18日(土) ミュージアムセミナー

演 題：「大名と能」

講 師：学芸課主任学芸員 才藤 あずさ

聴講者：59 名

第Ⅱ期 美術館コレクション

〈企画展〉親子でみる美術展 二の丸動物園

—描かれ、造形されてきた動物たち—

会 期	平成27年7月11日(土)～10月4日(日)
開催日数	75日間
会 場	熊本県立美術館本館 2階展示室
主 催	熊本県立美術館
特別協力	公益財団法人永青文庫
観 覧 料	一般270円(190円) 大学生160円(120円) 高校生以下無料() 内は団体20名以上の料金
観覧者数	8,066名
担 当 者	石丸 美穂子、宮川 聖子



趣旨とその成果

子どもにわかりやすい展示構成を工夫し、人の営みの中で、描き、作られてきた動物たちにスポットをあて、様々な時代の作品を展示した。江戸時代の博物図鑑や、道具に宿るおめでたい動物たちの姿に、驚いたり癒やされたりしながら、親子で楽しむことのできる展覧会となった。来館者からは「子どもでも大人にもわかりやすい」という声が聞かれた。また、観賞の手助けとしてクイズ形式のワークシートを作成し会期中に配付、また、熊本県内の小中学校にメールで配信した。

なお、常設展示では、キスリング、パスキン、藤田嗣治(レオナルド＝ツグハル・フジタ)などエコール・ド・パリの画家たちや、アンドレ・ロート、海老原喜之助、川口軌外らの当館所蔵品により、フランスと日本をめぐる画家たちの交流の旅路をたどった。

関連行事

7月19日(日) 子ども美術館

内 容:「文字どうぶつ出現☆キーホルダーをつくろう」

参加者:51名

7月26日(日) 子ども美術館

内 容:「ほっぺに動物出現☆フェイスペイントを楽しもう」

参加者:42名

8月9日(日) 子ども美術館

内 容:「動物園探検隊☆美術館の動物を探そう」

参加者:15名

第Ⅲ期 細川コレクション 〈特集〉南蛮文化と細川家

—忠興とガラシャ、異国との出会い—

会 期	平成 27 年 10 月 10 日（土）～ 12 月 23 日（水・祝）
開催日数	65 日間
会 場	熊本県立美術館本館 細川コレクション常設展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
特別協力	公益財団法人永青文庫
協 力	肥後銀行
観 覧 料	一般 210 円（160 円） 大学生 130 円（100 円） 高校生以下無料（ ）内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	4,490 名
担 当 者	宮川 聖子



趣旨とその成果

16 世紀半ば以降、ポルトガルやスペインをはじめとした様々な国から宣教師や商人たちが日本へ来航。彼らは鉄砲やキリスト教などの新しい文化をもたらし、桃山時代から江戸時代初期にかけての日本では、異国情緒あふれる「南蛮文化」が大流行した。その影響は、日用品から食物、武器・武具、芸術にいたるまで多岐にわたっており、本展では南蛮文化に魅了された武将・細川忠興（三齋）と、キリスト教の洗礼を受けた忠興の妻・ガラシャを中心にして、その様相を紹介した。

とくに忠興（三齋）・忠利・光尚の 3 代にわたって使用されたローマ字印（南蛮字印）について注目し、その特集コーナーを設置。細川家の当主およびその家臣たちが当時の最先端であるローマ字印を好んで使用したことは、あまり知られていなかったもので、じっくりとご覧になる観覧者が多かった。また、目玉としては、日本人によって描かれた西洋風の絵画《洋人奏楽図屏風》（重要文化財）を特別展示したので、集客効果につながった。

なお、常設展示では、細川家の藩主が用いた甲冑や、近世絵画の他、護立コレクションから小林古径《鶴と七面鳥》、堅山南風《霜月頃》を展示した。

関連行事

- 11 月 21 日（土）ミュージアムセミナー
演 題：「南蛮文化と細川家」
講 師：学芸課学芸員 宮川 聖子
聴講者：76 名

印象派のふるさと

ノルマンディー展 —近代風景画のはじまり—

モネ、デュフィら巨匠たちが描く水と光の饗宴

会 期	平成 27 年 4 月 18 日（土）～6 月 21 日（日）
開催日数	58 日間
会 場	熊本県立美術館本館 1 階展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
後 援	在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、 熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本日仏協会、 熊本県市町村教育委員会連絡協議会、 熊本県凶画工作・美術教育研究会、 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、 熊本県高等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会、 NHK 熊本放送局、エフエム熊本、FM791 熊本ルネッサンス県民運動本部
特別協賛	肥後銀行
協 力	エールフランス航空、ヤマトロジスティクス株式会社
企画協力	(株)ブレントラスト
観 覧 料	一般 1,300 円（1,000 円） 高・大学生 800 円（500 円） 中学生以下無料（ ）内は前売・団体 20 名以上の料金
観覧者数	19,810 名
担 当 者	村上 哲



趣旨とその成果

光溢れる水辺が緑豊かな自然と溶けあう北フランスのノルマンディーを舞台に、19世紀から20世紀にいたる画家たちの創造の軌跡を辿りながら、ノルマンディー地方がもたらした絵画芸術の豊穡なる薫りを紹介。ノルマンディーの港湾都市ル・アーヴルにあるアンドレ・マルロー美術館の協力のもと、同館のコレクションやポンピドゥー・センター（パリ国立近代美術館）などフランスやわが国の美術館の所蔵品、個人コレクションなど120点の名品群を、下記の全8章に分けて構成し展示した。

モネをはじめとする印象派やその先駆となった外光派のブーダン、コローやクールベら写実派、色彩の魔術師デュフィなどノルマンディーで活動した画家たちが、瑞々しい感性で絵画芸術に新たな息吹を与えた様相を軸にして展示。芸術家たちの豊かな人的交流と創造への探求を経て、ノルマンディーが印象派誕生の故郷となり、20世紀絵画への扉が開かれた道程をメインストーリーに、19世紀中頃のチューブ絵具の発明が野外制作を容易にしたことや浮世絵の影響なども加味しながら紹介し、近代絵画の誕生の軌跡を伝える意義深い企画となった。日本とフランスの文化交流が始まって90周年を迎えたことを記念する「日仏文化協力90周年」の日仏文化交流事業として、在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、熊本日仏協会等の後援のもと、肥後銀行の創立90周年を記念する事業として開催した。

関連行事

- ① スライドトーク 「印象派の故郷へーノルマンディーへの旅」
20名以上のグループ・団体への鑑賞プログラム（約20分の解説）
実施期間：展覧会会期中（4月18日〔土〕～6月21日〔日〕／休館日を除く）
場 所：本館・講堂
講 師：学芸課長 村上 哲
聴 講 者：30団体＝2,000名
- ② ミュージアムセミナー「印象派誕生の地ーノルマンディーに集った画家たち」
日 時：5月2日（土）14：00～15：00
場 所：本館・講堂
講 師：学芸課長 村上 哲
聴 講 者：120名
- ③ 子ども美術館「印象派のふるさとー光と水と人々と」
（小・中学生向け講座&ワークショップ）
日 時：5月17日（日）10：30～12：00
場 所：本館・講堂、1F展示室
参 加 者：46名
- ④ ミュージアムコンサート「色と光のハーモニー」
日 時：6月6日（土）14：00～15：00
場 所：本館・吹抜ホール
出 演：トランスコンチネンタルDUO
＝梶本ひろ子氏（フルート）、イゴール・ゴルガー氏（クラシック・ギター）
来 場 者：350名

戦後 70 年記念 浜田知明のすべて

—銅版画・彫刻・油彩画・スケッチによる浜田知明の全貌—

会 期	平成 27 年 8 月 1 日（土）～ 9 月 13 日（日）
開催日数	39 日間
会 場	熊本県立美術館本館 1 階展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本県立美術館友の会
後 援	熊本市、御船町、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、 熊本県市町村教育委員会連絡協議会、 熊本県図画工作・美術教育研究会、 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、 熊本県高等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会、 熊本日日新聞社、NHK 熊本放送局、 RKK 熊本放送、TKU テレビ熊本、KKT 熊本県民テレビ、 エフエム熊本、KAB 熊本朝日放送、FM791
観 覧 料	一般 1,000 円（800 円） 大学生 700 円（500 円） 高校生以下無料（ ）内は前売・団体 20 名以上の料金
観覧者数	5,872 名
担 当 者	井上 正敏



趣旨とその成果

戦後 70 年になるのを記念して、わが国戦後美術を代表する重要な作家であり、1957 年から帰郷し熊本在住作家でもある、浜田知明の全作品を一堂に紹介する展覧会を、「熊本県立美術館友の会」との共催で開催した。浜田の 15 歳の油彩から 97 歳の彫刻作品までの厳選された銅版画、彫刻、油彩画、スケッチ、デッサンなどによる 300 余点の全作品と木版画、原板などの関連資料などを展示し、浜田知明の芸術世界の全貌を回顧する貴重な展覧会となった。また、初公開 4 点をも含んだ今展開催を機会に、絶版だった『浜田知明 - 版画と彫刻による人間の探求』展図録を増補改訂して、新作を含めた全作品について浜田のインタビューを掲載した『浜田知明のすべて』図録を編集作成した。終戦 70 年の夏ということで、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など多くのマスコミに取り上げられ、その内容は高く評価された。本展は、「熊本県立美術館友の会」の設立 40 周年記念事業として、また熊本県立美術館の開館 40 周年のプレ記念事業として開催した。

関連行事

- ① ミュージアムセミナー 「浜田知明のすべて」を語る（銅版画を中心に）
日 時：8 月 8 日（土）14：00～15：00
場 所：本館・講堂
講 師：学芸課参事 井上 正敏
聴講者：68 名
- ② ミュージアムセミナー 「浜田知明のすべて」を語る（彫刻作品を中心に）
日 時：8 月 29 日（土）14：00～15：00
場 所：本館・講堂
講 師：学芸課参事 井上 正敏
聴講者：80 名
- ③ 子ども美術館「スチレン版画で浜田知明さんになろう！」
日 時：8 月 30 日（日）10：30～12：00
場 所：本館・講堂
参加者：36 名

ジョルジュ・ルオー展

心揺さぶる魂の色彩 —フランス絵画の巨匠—

パナソニック 汐留ミュージアム コレクション

会 期	平成 27 年 9 月 25 日 (金) ~ 11 月 23 日 (月・祝)
開催日数	53 日間
会 場	熊本県立美術館本館 1 階展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
後 援	熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本日仏協会、 熊本県市町村教育委員会連絡協議会、 熊本県図画工作・美術教育研究会、 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、 熊本県高等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会、 NHK 熊本放送局、エフエム熊本、FM791
特別協力	パナソニック 汐留ミュージアム
企画協力	ホワイトインターナショナル
観 覧 料	一般 1,300 円 (1,000 円) 高・大学生 800 円 (500 円) 中学生以下無料 () 内は前売・団体 20 名以上の料金
観覧者数	10,728 名
担 当 者	村上 哲



趣旨とその成果

太く黒い線と鮮やかな色彩を駆使し独自の精神世界を開いたフランス絵画の巨匠ジョルジュ・ルオー(1871-1958)の、初期から晩年まで70年にわたるその壮大な画業を紹介。世界有数のルオー・コレクションとして知られる東京のパナソニック汐留ミュージアムの所蔵品により、傑作「キリスト」や版画集『ミセレーレ』など宗教を主題とする代表作を展覧するとともに、実験的な油彩作品、版画連作などその芸術の全容を網羅しながら、フランス絵画の巨匠ルオーが現代の私たちに投げかけるメッセージを探った。なお熊本県立美術館では1976年の開館以来、ピカソやシャガールなど絵画と版畫の双方の領域で活躍した巨匠たちを紹介するとともに、美術館コレクションの体系化を続けてきた。ルオーは「画家にして版畫家」と呼ばれるこの天才たちの系譜上に大きな足跡を残しており、当館でも版画集の代表作『悪の華』などルオーの版画作品16点を所蔵している。開館当初に収集したこれらの作品群は当館の西洋美術コレクションの出発点となり、その後、ルノワールや藤田嗣治など近代のフランス美術は、コレクション常設展示の中心を担うものになっている。またルオーの同朋であったヴラマンクやマティスら野獸派の画家たちの作品も、常設コーナーの常連となっている。このような観点から、本展を熊本県立美術館の開館40周年のプレ記念事業として位置づけて開催し、当館にとってきわめて意義深い企画となった。

関連行事

- ① スライドトーク 「ルオー芸術へのいざない—人間の魂を見つめて」
20名以上のグループ・団体への鑑賞プログラム(約20分の解説)
実施期間: 展覧会会期中(9月25日[金]~11月23日[月・祝] / 休館日を除く)
講 師: 学芸課長 村上 哲
聴 講 者: 10団体 = 500名
- ② ミュージアムセミナー「ジョルジュ・ルオー—心揺さぶる魂の色彩」
日 時: 10月10日(土) 14:00~15:00

場 所：本館・講堂

講 師：学芸課長 村上 哲

聴講者：76名

③ 子ども美術館「名画探検—ルオーの欠片」

小・中学生向け講座&ワークショップ

日 時：11月8日（日）10：30～12：00

場 所：本館・講堂、1F 展示室

参加者：23名

④ ミュージアムコンサート（連携事業）

「NHK美術館コンサート」

日 時：9月26日（土）14：00～16：15

場 所：本館・吹抜ホール

出 演：ミカ & リチャード・ストルツマンによるマリンバ & クラリネット DUO 他

来場者：350名

日本遺産認定記念

ほとけの里と相良の名宝 一人吉球磨の歴史と美

会 期	平成 27 年 10 月 14 日（水）～ 11 月 29 日（日）
開催日数	42 日
会 場	熊本県立美術館本館 2 階展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本県県南広域本部球磨地域振興局、 人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、 水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、 人吉球磨広域行政組合、球磨地域文化財広域連携協議会、 人吉城歴史館、熊本日新聞社、RKK 熊本放送
後 援	熊本県文化協会、熊本県文化財保護協会、 熊本県美術家連盟、熊本県市町村教育委員会連絡協議会、 熊本県凶画工作・美術教育研究会、 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、 熊本県高等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会、 NHK 熊本放送局、エフエム熊本、FM791
特別協賛	一般財団法人化学及血清療法研究所、織月酒造株式会社、文化庁
特別協力	慶應義塾図書館
協 力	熊本中世史研究会
観 覧 料	一般 1,000 円（800 円） 大学生 700 円（500 円） 高校生以下無料（ ）内は前売・団体 20 名以上の料金
観覧者数	9,739 名
担 当 者	有木 芳隆



趣旨とその成果

本展は、平成 27 年度に人吉球磨地域の 10 市町村が「相良 700 年が生んだ保守と進取の文化」として「日本遺産」に認定されたことを記念した展覧会。

球磨を代表する中世の仏像と、国宝・青井阿蘇神社や地域内の諸神社が所蔵する神仏習合美術、美しい古仏群「相良三十三観音」のほとけ、球磨の歴史を物語る貴重な古文書「重文 相良家文書」（慶応大学所蔵）等を一堂に展覧できた。とくに、「相良家文書」については、初めての大規模な「里帰り公開」となった。

総出品点数は、国宝 1 点、重要文化財 54 点を含む 153 点。

本展は、美しい仏像群が遺されている《ほとけの里＝人吉・球磨》の魅力と、波乱にみちた中世・人吉球磨の歴史を通観する初めての機会となり、本展の開催をとおして人吉・球磨の歴史と美＝古仏群の魅力を、地元の方々に再認識していただけるとともに全国に向けて発信した。

関連行事

- ① 子ども美術館「仏のひみつを知るのはきみだ」
日 時：10 月 18 日（日）10：30～12：00
場 所：本館・講堂
参加者：19 名
- ② ミュージアムセミナー「古代球磨人吉の仏像と神像」
日 時：10 月 24 日（土）14：00～15：00
場 所：本館・講堂
講 師：学芸課主幹 有木 芳隆

聴講者：131名

③ 特別講演会「人吉球磨の仏像」

日時：10月31日（土）13：30～15：00

場所：本館・講堂

講師：文化庁主任文化財調査官 奥 健夫 氏

聴講者：142名

④ 特別講演会「中世球磨郡と相良氏」

日時：11月14日（土）13：30～15：00

場所：本館・講堂

講師：熊本学園大学経済学部准教授 小川 弘和 氏

聴講者：146名

⑤ 出張！子ども美術館「古文書から知る花押の秘密」

日時：11月1日（日）10：30～12：00

場所：人吉城歴史館

参加者：12名

⑥ 出張！子ども美術館「お寺を探検、仏像のつくられた時代とつくった人びと」

日時：11月22日（日）10：30～12：00

場所：球磨郡錦町・新宮寺

参加者：8名

平成 27 年度スクールミュージアム

主 催 熊本県立美術館
展 示 物 浜田知明氏の作品（銅版画、原板）
観 覧 者 10 校 合計 2,320 名
担 当 者 石丸 美穂子、井上 正敏



趣旨とその成果

平成 18 年（2006）より、教育普及活動として本館収蔵作品を学校へ持ち込んで学校を美術館にする「スクールミュージアム」を開催している。子どもたちが美術作品を鑑賞することで、芸術、文化を愛好する心情を育てると共に、学校の協力により、保護者、地域の方々にもひろく本館収蔵品を知ってもらう機会としている。本年度は、4 月と 6 月の 2 回、県内の学校に募集要項をメール配信して希望を募った。県内各地から 13 校の希望があり、10 月から 12 月の期間に県内の小中高等学校等 10 校で各 1 日実施した。

具体的な内容については事前に開催校に赴いて担当者と協議し、鑑賞における要望等、実施計画を組み立てた。展示内容については、浜田知明の版画作品の中から学校側の希望を参考にし、浜田知明氏の版画作品を 18～35 点展示した。

各校での実施にあたっては、学校担当者と鑑賞授業を計画しており、今年度は、子どもたちが 3 つのヒントを出しあってその作品を探し出すものや、タイトルからどんな作品かを予想して描き、そのあと実際の作品を観るといふもの、小学生と中学生と一緒に学ぶ交流授業、作品観賞を通して保護者が子どもへメッセージを贈るなど、様々な活動が行われた。子どもたちは、感じたことを友達どうしで話したり、考えたことを発表したりと、作品を観る楽しさを味わってくれたようだった。その姿に、学校関係者、保護者から「このような活動は今後もぜひ続けてほしい」という言葉をもらった。美術館と学校が連携することで鑑賞教育はさらに充実し、将来に渡って美術を愛好する心情の育成につながると考える。美術館の役割として、スクールミュージアムを実施する意義は大きいと改めて実感した。

実施校

実施日	実施校	児童・生徒参加者数	保護者等参加者数	合計
10 月 5 日（月）	益城町立木山中学校	374	36	410
10 月 8 日（木）	人吉市立第三中学校	117	25	142
10 月 9 日（金）	嘉島町立嘉島東小学校	122	27	149
10 月 10 日（土）	熊本県立湧心館高等学校	360	60	420
10 月 19 日（月）	水上村立水上中学校	63	26	89
11 月 2 日（月）	相良村立相良中学校	188	64	252
11 月 14 日（土）	八代市立二見中学校	38	62	100
11 月 29 日（金）	御船町立七滝中央小学校	83	119	202
12 月 7 日（月）	錦町立錦中学校	83	62	145
12 月 8 日（火）	御船町立高木小学校	390	21	411
総計		1,818	502	2,320

菊池恵楓園 1 日移動美術展「浜田知明作品展 2015 秋」

会 期 平成 27 年 11 月 3 日 (火・文化の日)
開催日数 1 日間
会 場 国立療養所菊池恵楓園 社会交流会館 (歴史資料館)
主 催 熊本県立美術館、国立療養所菊池恵楓園入所者自治会
国立療養所菊池恵楓園
観 覧 料 無料
観 覧 者 数 111 名
担 当 者 井上 正敏



趣旨とその成果

浜田知明作品をコレクションして来られた永野一成氏は、上益城郡の小・中学校で教職に就き、人権教育の実践者としてもよく知られた教師で、2005年病没された。生前、ハンセン病問題の啓発活動にも深く関わり、菊池恵楓園での展覧会を通し入所者や地域の方々に人間愛にあふれる浜田作品を見てもらいたいと願っておられたが、永野氏の病気等の為に実現できなかった。収集された浜田知明作品 160 余点は、一成氏の逝去後奥様から県立美術館に一括して寄贈いただき、スクール・ミュージアムなどに活用されている。

今回で9回目となった本展は、浜田知明の代表作 1952年と 1953年の《初年兵哀歌》など 16点、戦後70年を記念して宮崎静夫の代表作《聲》1点を展示し、例年のように恵楓園の入所者や職員、そして地域の方々に間近で、じっくり鑑賞していただく機会となった。会場は、ハンセン病の歴史をわかりやすく紹介展示された施設の中で、展示も充実してきているので、それらの展示資料と共に浜田知明作品を見ていただくのもこの催しの魅力である。この展覧会を楽しみに、毎年この機会に県外から出かけて来られる方もおられる。

熊本日日新聞では事前にも報道いただいた。当日は、熊日新聞、読売新聞、朝日新聞の新聞各社の他、NHK 熊本放送局、RKK、KKT 等地元テレビ局の取材があり、後日報道がなされた。

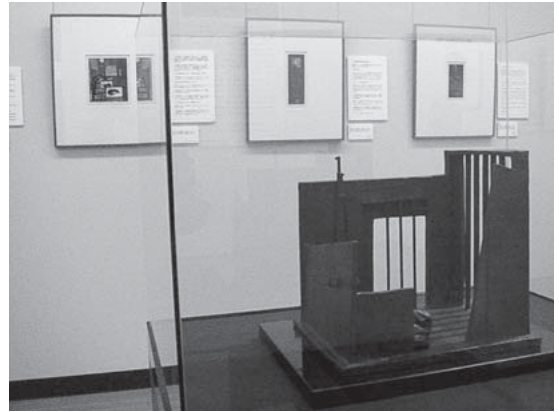


菊池恵楓園「浜田知明作品展 2015 秋」会場にて (テレビ局取材中)

■ 浜田知明室 平成 27 (2015) 年度

概要

熊本市在住の版画家・彫刻家の浜田知明の版画作品を、毎期制作年代順にほぼ10点ずつ入替ながら展示し、その作品と関連がある彫刻作品を1、2点ずつ紹介している。今年度の第1期は、銅版画制作の最後となる1992年の《いらいら(C)》から《カッパドキア追想》までの版画と、関連の原板と彫刻2点を展示した。第2期と第3期は、8月1日～9月13日に1階展示会場で「戦後70周年記念 浜田知明のすべて」を開催した関係で、通常の展示とは趣を変え、1階の会場の展示の続きの会場として、貴重な『イソップものがたり』の挿絵などの木版画や当館が保管する代表作の原版などを展示した。特別展もあり、熱心に鑑賞される方が多く見られた。第4期は通常の展示を行った。



会 場 熊本県立美術館本館 2階浜田知明版画室
担 当 者 井上 正敏

◆会期・出品作品リスト

□第1期 (4月4日～6月28日)

◇版画：《いらいら(C)》、同 原板、《猫と魚》、《窓から－何もしてないよ(A)》、同 原板、《窓から－何もしてないよ(B)》、同 原板、《窓から－何もしてないよ(C)》、《窓から－白い手袋》、《カッパドキア追想》

◇彫刻：《ヘルメット》1998年作、《晩年》1999年作

□第2期 (7月11日～8月23日)

◇版画：《裸婦素描1936》、《古美術研修旅行スケッチ・孝恩寺》、《『イソップ物語』のための挿絵・木版画前半》、《年賀状6点》、《初年兵哀歌(銃架のかげ)》原板、《よみがえる亡霊》原板、《アレレ》原板、《月夜》原板など原板8点を展示

□第3期 (8月25日～10月4日)

◇版画：《裸婦素描1937》、《古美術研修旅行スケッチ・法隆寺金堂》、《『イソップ物語』のための挿絵・木版画後半》、《年賀状5点》

◇原板：《初年兵哀歌(便所の伝説)》、《群盲》、《カタコンベ》、《ボタン(B)》などの原板8点を展示

□第4期 (10月14日～12月23日)

◇版画：《聖馬》、《Marikoに》、《幼きキリスト》、《人》、《首》、《初年兵哀歌(銃架のかげ)》、《初年兵哀歌(便所の伝説)》、《初年兵哀歌(戦いのあと)》、《初年兵哀歌(歩哨)》、《初年兵哀歌(歩哨)》

◇彫刻：《芋虫の兵隊(B)》1995年作

◆今年度の主な展覧会、新聞・雑誌の報道など

- 当館で「戦後70年記念 浜田知明のすべて」(8月1日～9月13日)を開催した関係で、8月23日のNHK ETV「日曜美術館」アートシーンをはじめ、NHK ラジオ深夜便『明日へのことば』「浜田知明 反戦の思いを作品に込める」など、多くのテレビ・ラジオ局の取材・報道、主要新聞社各紙で「戦後70年」や「浜田知明のすべて」展に関連して、浜田氏本人への取材、展覧会への取材などが行われ、展覧会の紹介記事だけでなく、企画連載記事、署名入りの展覧会評、著名人のツイッターなどでも紹介された。
- 『芸術批評誌 REAR』(2016年1月16日号)「特集・2015 戦争を視る」において、「戦後70年記念 浜田知明のすべて」の紹介と、「インタビュー浜田知明／8月17日の浜田知明さん」(聞き手：高橋綾子)が掲載された。

■装飾古墳室

〈常設展示室〉

装飾古墳室は、古代から現代に至る本県の美術史の原点として設けたものである。

九州における装飾古墳は、5世紀から7世紀にかけて盛行して、現在全国で発見されている約660基の過半数369基が九州地方に、特に196基が熊本県に集中している。

装飾古墳の特徴は、その装飾性にあるといえる。直弧文・円文・三角文等の幾何学文様と、武器・武具、人や動物、船や家などの具象形の文様が、彩色されたり彫刻されて墳墓や横穴を飾っている。赤・青・白などの単純で強烈な色彩や、素朴で躍動的な造型性は、われわれの心を揺り動かす。



しかし、装飾古墳は、崩壊の一途をたどっているのが現実である。当美術館は公開と保存という矛盾の中から解決を探る試みとして、精巧なレプリカや模刻・模写という方法で地元の偉大な文化遺産を写しとった。

〈レプリカ・模刻〉

No.	名称	出土地名	指定
1	大村横穴	人吉市城本町	国指定史跡
2	千金甲古墳（1号）	熊本市西区小島下町	〃
3	井寺古墳	上益城郡嘉島町	〃
4	鍋田横穴	山鹿市大字鍋田	〃
5	弁慶ヶ穴古墳	山鹿市熊入町	〃
6	チブサン古墳	山鹿市大字城字西福寺	〃

〈石材・石人等〉

No.	名称	出土地名	所蔵（保管）者名
1	広浦古墳石棺石材	上天草市大矢野町	県立済々黌高等学校
2	鴨籠古墳石棺	宇城市不知火町	熊本大学
3	白塚古墳石人	山鹿市大字石	県立鹿本商工高等学校
4	姫ノ城古墳出土翳・蓋・靱	八代郡氷川町	氷川町教育委員会

〈江上波夫コレクション—匈奴の文物〉

1	青銅製轡	匈奴（紀元前400～200年頃）	中国・内モンゴル（オルドス地方）出土
2	青銅製丁字形戈	匈奴（紀元前400～200年頃）	中国・内モンゴル（オルドス地方）出土
3	青銅製鹿文透斧	匈奴（紀元前400～200年頃）	中国・内モンゴル（オルドス地方）出土
4	青銅製径路剣	匈奴（紀元前400～200年頃）	中国・内モンゴル（オルドス地方）出土
5	青銅製鍍金飾り具	匈奴（紀元前400～200年頃）	中国・内モンゴル（オルドス地方）出土
6	青銅製動物文飾り板・腰帯匈奴	匈奴（紀元前400～200年頃）	中国・内モンゴル（オルドス地方）出土

■教育普及

□各種講座等

子ども美術館活動

回	期 日	テ ー マ	講 師	参加者数
1	5月17日(日)	印象派のふるさと 一光と水と人々と	石丸美穂子(主任主事)、村上哲(学芸課長)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	46名
2	6月14日(日)	茶わんまつりだ! みんなでつくろう (有料、要予約)	講師:西山文子(舞臺)、石丸美穂子(主任主事)、山田貴司(学芸課参事)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	39名
3	7月19日(日)	文字どうぶつ出現☆キーホルダー をつくろう	石丸美穂子(主任主事)、宮川聖子(学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	51名
4	7月26日(日)	ほっぺに動物出現☆フェイスペイン トを楽しもう	石丸美穂子(主任主事)、宮川聖子(学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	42名
5	8月9日(日)	動物園探検隊☆美術館の動物を探 そう	石丸美穂子(主任主事)、宮川聖子(学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	15名
6	8月30日(日)	スチレン版画で浜田知明さんにな ろう!	石丸美穂子(主任主事)、井上正敏(学芸課参事)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	36名
7	10月18日(日)	美術館探検～仏のひみつを知るの はきみだ～	石丸美穂子(主任主事)、有木芳隆(学芸課主幹)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	19名
8	11月8日(日)	名画探偵～ルオーの欠片(かけら) ～	石丸美穂子(主任主事)、村上哲(学芸課長)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	23名
				計 271名

出張授業及び研修等

	期 日	内 容	担 当 者	場 所
1	5月23日(土)	アクロス・文化学び塾 講師「印象派のふるさとへーノルマンディーに集った画家たち」	村上 哲	アクロス福岡
2	7月28日(火)	熊本市歴史文書資料室歴史講座 講師「細川家伝来文書からみた信長文書論の現在地」	山田貴司	熊本市歴史文書資料室
3	9月5日(土)	「ポップ・アート」展記念講演会 講師「アメリカの版画工房とポップ・アート」	村上 哲	熊本市現代美術館
4	10月1日(木) ～2日(金)	平成27年度第45回九州博物館協議会学芸員・事務職員研修会	石丸美穂子 林田百合恵	佐賀県立名古屋城博物館等(佐賀県唐津市鎮西町)
5	10月19日(月) ～23日(金)	指定文化財企画・展示セミナー	林田龍太	京都国立博物館(京都市)
6	10月27日(火)	県民カレッジ「ほとけの里と相良の名宝」	有木芳隆	くまもと県民交流館パレア
7	11月8日(日)	多良木町講演会 講師「ここまでわかった! 多良木の相良氏」	山田貴司	黒の蔵(多良木町)
8	11月10日(火) ～11日(水)	ミュージアム IPM 研修(技術編)	宮川聖子	九州国立博物館(福岡市)
9	11月18日(水)	学芸員技術研修会「展示グラフィックと集客ツール」	石丸美穂子	熊本県立美術館

10	11月20日(金)	熊本県高等学校地理歴史公民研究会講師 「ほとけの里と相良の名宝」	有木芳隆 山田貴司	熊本高校(熊本市)
11	11月22日(日)	「ほとけの里と相良の名宝」アウトリーチ 「ほとけの姿を知るのは君だ」	有木芳隆	錦町 新宮寺
12	12月2日(水)	学芸員技術研修会・著作権	林田龍太	九州産業大学(福岡市)
13	1月12日(火)	学芸員技術研修会「アート教育」	石丸美穂子	九州産業大学(福岡市)

□ミュージアムセミナー ～熊本県立美術館 美術鑑賞講座～

回	期 日	テ ー マ	講 師	参加者数
1	5月2日(土)	印象派誕生の地 ―ノルマンディーに集った画家たち	学芸課長 村上 哲	120名
2	5月9日(土)	戦後美術と熊本	主任学芸員 林田龍太	36名
3	6月20日(土)	細川忠興の茶道具収集	学芸課参事 山田貴司	146名
4	7月18日(土)	大名と能	主任学芸員 才藤あずさ	59名
5	8月8日(土)	「浜田知明のすべて」を語る(銅版画を中心に)	学芸課参事 井上正敏	68名
6	8月29日(土)	「浜田知明のすべて」を語る(彫刻作品を中心に)	学芸課参事 井上正敏	80名
7	10月10日(土)	ジョルジュ・ルオー ―心揺さぶる魂の色彩―	学芸課長 村上 哲	76名
8	10月24日(土)	古代球磨人吉の仏像と神像	学芸課主幹 有木芳隆	131名
9	11月21日(土)	南蛮文化と細川家	学芸員 宮川聖子	76名
10	12月12日(土)	雪舟流と狩野派 ―熊本近世絵画のルーツ―	主任学芸員 金子岳史	57名
				合計 849名

□実技講座

期 日	講座内容	講 師	参加者数
9月2日(水)～4日(金) 9月9日(水)～11日(金) 全6日間	フレスコ画講座	画家 崇城大学教授 有田 巧氏	10名
9月15日(火)～18日(金) 9月22日(火)～25日(金) 全8日間	日本画講座 (模写を中心に)	日本画家 浮島館主宰 大塚浩平氏	11名
※「フレスコ画」「日本画」の講座は講師の希望により受講者を少人数で設定している。			合計 21名

学芸員資格取得課程実習（博物館実習）

期 日	実習生所属大学等	実習生数	場 所	担 当
8月20日（木） ～ 8月26日（水）	熊本大学、崇城大学、福岡大学、九州産業大学、金沢美術工芸大学に在籍する大学生	11名	本館 会議室等	山田 貴司 (学芸課参事) 他学芸課職員

熊本市内中学校ナイストライ（職場実習）事業協力

期 日	学 校	担 当	場 所	参加者数
9月15日（火） ～ 9月17日（木）	熊本市立京陵中学校	石丸美穂子、 宮川聖子 他	会場受付、監視補助、鑑賞教材作成補助	2名
	熊本市立白川中学校	石丸美穂子、 宮川聖子 他	会場受付、監視補助、鑑賞教材作成補助	3名
合計 5名				

講演会

回	期 日	テ ー マ	講 師	参加者数
1	10月31日（土）	人吉球磨の仏像 平安時代・12世紀に制作され、銘文を記した球磨地域の仏像を手がかりに、球磨の在地領主と仏師の動向を探る。どのような仏師が外部から招かれたのかを推測した興味深い試み。	文化庁主任文化財調査官 奥 健夫 氏	142名
2	11月14日（土）	中世球磨郡と相良氏 相良氏が入部する以前の球磨の地域世界と、相良氏入部後の鎌倉時代、室町時代の展開を古文書をもとに紹介した。人吉を根拠とした下相良家と多良木を根拠とした上相良家の対立と、下相良家による球磨統一をもたらした理由など新見解を解説。	熊本学園大学経済学部准教授 小川 弘和 氏	146名
合計 288名				

□平成 27 年度熊本県立美術館ボランティアの活動

■美術館サポートボランティア

当館のボランティア活動については、平成 4 年に美術館友の会を母体としてスタートし、平成 5 年以降は「熊本県立美術館ボランティア会」として、美術館の作業サポートや子ども美術館のワークショップ、コレクションガイドなどの活動を続けてきた。

平成 25 年度からは、美術館が運営するものとし、名称を「美術館サポートボランティア」と改め、新体制で活動を再スタートしている。

平成 27 年度は 51 名が登録し、以下の基本方針のもと、各グループに分かれて活動した。

◆美術館サポートボランティアは美術館の日々の活動を支えることを目的とする。そのために、次の活動を行う。

- 美術館運営のための支援（作業・広報）活動。
- ワークショップ活動（教育普及）の支援活動。

■活動内容について

(1) 各グループでの活動（4 グループのいずれかに所属し活動する）

① 図書グループ

毎週火曜日に活動し、展覧会図録や美術図書の整理を行った。

② 資料グループ

月 2 回水曜日に活動し、新聞記事の切り抜き、資料の分類・整理を行った。

③ ポスターグループ

第 2 月曜日に活動し、展覧会ポスター・チラシの掲示・整理、発送作業を行った。

④ 子ども美術館グループ

年に 7 回、前日の活動を合わせると 14 回活動し、子ども美術館でスタッフの一員として、教材づくりや子ども達の支援を行った。

(2) その他の活動（希望者による活動）

① 障がい者支援

【障がいのある方々の鑑賞デー】

本年度は、5 月 18 日（月）、8 月 10 日（月）、11 月 16 日（月）の 3 回開催した。午前・午後の交替制で多数のボランティア会員にご協力をいただき、館内案内、展覧会案内、車椅子の移動支援など、障がいのある方々への支援に取り組んだ。

② NHK 美術館コンサートのサポート

ボランティアの希望を募って実施、毎回 10 人ほど募集し、会場整理等を行った。

③ 美術館敷地内の清掃および彫刻等の拭き上げ作業

9 月 28 日（月）に実施、参加は少なかったが、美術館の環境を整える活動を行った。

④ 美術館研修会（サポートボランティアを対象に行う）

美術館のミュージアムセミナー、講演会に参加した。毎回 20 人程度が参加している。

⑤ 自主学習会

意欲のある人たちが集まって以前からの学習会を自主的に継続している。

□平成27年度 NHK・美術館コンサート記録

回	月	日	曜	時間	出演団体	曲目	場所	
154	5	23	土	午後2:00～ 3:15	第1部 辻田 尚子 (マリンバ)	オッフアリング トロイメライ リベルタンゴ ジムノペディ第1番 ランド	マイケル・ブリット シューマン (作曲) アストル・ピアソラ (編曲) エリック・サミュ エリック・サティ 村松崇継	熊本県立 美術館 吹抜 ホール
					第2部 古澤歌歩子 (ピアノ)	月の光「ベルガマスク組曲」より アラベスク第1番 献呈～君に捧ぐ～ 水の戯れ 前奏曲「ピアノのために」より	ドビュッシー ドビュッシー (作曲) シューマン (編曲) リスト ラヴェル ドビュッシー	
155	9	26	土	午後2:00～ 4:15	第1部 富田 佳那 (ピアノ)	インヴェンション13番 タランテラ6番 ワルツ2番	J.S. バッハ モシュコフスキ ショパン	同上
					星子愛里子 (ピアノ)	インヴェンション6番 ワルツ7番 ワルツ6番	J.S. バッハ ショパン ショパン	
					ピアノ、マリンバ&クラリネット DUO 協演	組曲「動物の謝肉祭」の協演 第3曲 ろば 第12曲 化石 第13曲 白鳥	サン・サーンス ※ピアノ2台 ※マリンバ&ピアノ2台 ※クラリネット&ピアノ2台	
第2部 マリンバ&クラリネット DUO ミカ・ストルツマン (マリンバ) リチャード・ストルツマン (クラリネット)	アイリッシュスピリッツ エアー ※クラリネットソロ ザ・ニンプス ※マリンバソロ シージャーニー 翼&小さな空 Wigwam (ウィグアム) ※マリンバソロ ワルツカンタンド モーストリーブルース 亡き王女のためのパヴァーヌ エプリーボディトクアバウトフリーダム	ビル・ダグラス 武満徹 ジョン・ゾーン (作曲) チックコリア (編曲) T. ガーランド (作曲) 武満徹 (編曲) ストルツマン チックコリア ビル・ダグラス W.T. マッケンリー (作曲) ラベル (編曲) ストルツマン (作曲) J. スペンサー (編曲) ミカ						
156	12	5	土	午後2:00～ 3:15	第1部 浦田 玲子 (ソプラノ)	「マイフェアレディ」より“踊りあかそう” チリビリン 「ラ・ボエーム」より“私の名はミミ” 「カルメン」より“恋は野の鳥ハバネラ” 「蝶々夫人」より“ある晴れた日に” オーソレミオ	フレデリック・ロウ ベスタロツァ ブッチーニ ビゼー ブッチーニ カプア	同上
					第2部 田尻 大喜 (トランペット)	Into the blue マンハッタン My way 花は咲く (アンコール) クリスマスソング	桃尻 大喜 P. スパーク C. フランソワ 菅野よう子	

IV 資料

■観覧者状況及び事業報告

□年度別入館者数

年 度	主催・共催展				貸 会 場				計			
	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数
昭和50年度	1	19	23,507	1,237	0	0	0	0	1	19	23,507	1,237
昭和51年度	18	412	302,395	734	17	101	46,471	460	35	513	348,866	680
昭和52年度	14	350	89,775	257	25	158	58,426	370	39	508	148,201	292
昭和53年度	18	438	205,025	468	19	137	76,183	556	37	575	281,208	489
昭和54年度	18	379	136,566	360	25	139	45,824	330	43	518	182,390	352
昭和55年度	16	365	110,593	303	24	173	61,261	354	40	538	171,854	319
昭和56年度	18	412	105,317	256	26	186	55,464	298	44	598	160,781	269
昭和57年度	15	433	182,457	421	25	162	50,476	312	40	595	232,933	391
昭和58年度	16	389	119,773	308	24	182	60,385	332	40	571	180,158	316
昭和59年度	16	398	103,005	259	25	155	47,687	308	41	553	150,692	272
昭和60年度	15	402	80,805	201	24	180	89,936	500	39	582	170,741	293
昭和61年度	16	438	137,798	315	28	186	48,321	260	44	624	186,119	298
昭和62年度	17	452	204,621	453	26	177	67,769	383	43	629	272,390	433
昭和63年度	18	436	143,992	330	25	170	76,406	449	43	606	220,398	364
平成元年度	18	493	192,916	391	25	191	71,004	372	43	684	263,920	386
平成2年度	16	458	182,813	399	27	205	115,017	561	43	663	297,830	449
平成3年度	16	435	182,231	419	26	172	58,675	341	42	607	240,906	397
平成4年度	15	506	137,320	271	31	223	65,103	292	46	729	202,423	278
平成5年度	22	690	153,677	223	104	669	162,734	243	126	1,359	316,411	233
平成6年度	19	565	198,610	352	119	789	193,628	245	138	1,354	392,238	290
平成7年度	18	553	218,537	395	138	887	221,809	250	156	1,440	440,346	306
平成8年度	17	452	210,043	465	92	622	164,596	265	109	1,074	374,639	349
平成9年度	13	363	68,225	188	130	801	189,534	237	143	1,164	257,759	221
平成10年度	16	570	103,579	182	137	889	172,409	194	153	1,459	275,988	189
平成11年度	14	479	163,538	341	158	982	213,522	217	172	1,461	377,060	258
平成12年度	16	525	143,028	272	153	969	253,794	262	169	1,494	396,822	266
平成13年度	13	432	96,938	224	151	965	218,165	226	164	1,397	315,103	226
平成14年度	15	472	120,577	255	144	893	171,247	192	159	1,365	291,824	214
平成15年度	14	481	116,014	241	172	1,059	208,160	197	186	1,540	324,174	211
平成16年度	13	420	65,729	156	174	1,111	209,413	188	187	1,531	275,142	180
平成17年度	12	434	95,550	220	172	1,041	187,883	180	184	1,475	283,433	192
平成18年度	21	385	73,945	192	165	995	189,301	190	186	1,380	263,246	191
平成19年度	21	371	162,652	438	180	1,121	206,943	185	201	1,492	369,595	248
平成20年度	30	663	226,126	341	175	1,093	209,314	192	205	1,756	435,440	248
平成21年度	22	736	98,212	133	174	1,111	260,714	235	196	1,847	358,926	194
平成22年度	22	632	101,051	160	166	1,033	215,981	209	188	1,665	317,032	190
平成23年度	22	525	191,658	365	175	1,034	233,227	226	197	1,559	424,885	273
平成24年度	21	652	137,416	211	168	1,069	281,306	263	189	1,721	418,722	243
平成25年度	24	766	140,291	183	171	1,047	222,282	212	195	1,813	362,573	200
平成26年度	24	736	101,242	138	163	1,050	274,295	261	187	1,786	375,537	210
平成27年度	21	586	82,969	142	123	801	214,023	267	144	1,387	296,992	214
累 計	711	19,703	5,710,516	290	3,926	24,928	5,968,688	239	4,637	44,631	11,679,204	262

※平成23年度以降に関しては、「主催・共催展」に名義共催も含んでいます。

□貸会場事業報告及び観覧者状況(本館)

展 覧 会 名	期 日	日数	主 催 者	内 容	入場者数	観覧料
KAB 開局 25 周年記念 エヴァンゲリオン展	4/1 ~ 4/12 (会期は2/28から)	12	熊本朝日放送株式会社	エヴァンゲリオンの映画の生原画や設定資料などおよそ 300 点の展示のほか、動画など 1000 点の資料による最先端の映像が生み出される過程の展示	12,687	一般 1,000 円 (800 円) 中・高校生 700 円 小学生 500 円 () 内は前売料金
第 34 回 熊日新鋭・学童書道展	7/14 ~ 7/20	7	株式会社 熊本日日新聞社	高校生以上対象新鋭の部、中学生以下対象学童の部 入賞作品約 800 点を展示	1,597	
第 70 回 記念県美展	9/15 ~ 9/21	7	熊本県美術協会	会員、会友、公募の洋画作品 約 250 点を展示	2,633	一般 500 円 高校生以下、障がい者無料
第 43 回 熊本県美術家連盟展	12/1 ~ 12/6	6	熊本県美術家連盟	日本画・洋画・彫刻・工芸・デザイン 5 部門の会員による作品を展示	1,310	
第 40 回 熊本県高等学校美術展、 第 19 回 熊本県高等学校写生大会優秀 作品展	12/8 ~ 12/13	6	熊本県高等学校文化連盟美術部	県内の高校生が授業や部活動で制作した絵画、デザイン、彫刻、立体、工芸、映像等の 作品約 200 点と熊本県高等学校写生大会の優秀作品約 40 点の計 240 点を展示	1,116	
第 56 回 熊日書道展	12/15 ~ 12/20	6	株式会社 熊本日日新聞社	漢字・かな・近代詩文・少字数・てん刻の 5 部門から入選以上の約 200 点と委嘱・無鑑 査作家の約 70 点の計 270 点を展示	1,149	中学生以上 300 円
平成 27 年度 崇城大学芸術学部卒業展・ 大学院芸術研究科修了展	12/22 ~ 12/27	6	崇城大学芸術学部	日本画、洋画、彫刻、芸術文化、視覚芸術、デザイン 計 63 点を展示	967	
小 計		50			21,459	

分館(展示室1・2・3)

貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内容	入場者数	観覧料
第55回白鷗書道展	4/7～4/12	6	白鷗書道会	書道作品の展示	1,900	
第18回遊美塾写真展	4/14～4/19	6	遊美塾	遊美塾生による写真とデジタルアートの作品展 出品数は200点程度	471	
第24回日専連全国・くまもと児童版画コンクール	4/14～4/26	12	協同組合日専連熊本青年会	熊本県下小学生の版画約250点(全国の小学生の優秀作品を含む)	661	
RKK学苑日本画教室作品展	4/14～4/19	6	RKK学苑日本画教室	RKK学苑日本画教室受講生の年間作品の発表の場 受講生(21人)1人あたり3作品展示	614	
傘寿記念福田眞展	4/21～4/26	6	福田眞	過去20年の洋画作品を約40点展示 傘寿記念個展	1,048	
日本風景写真協会熊本支部第8回写真展	4/21～4/26	6	日本風景写真協会熊本支部	全紙大写真約50点	1,037	
第35回熊本大学教育学部美術科同窓会展	4/28～5/4	7	熊本大学教育学部美術科同窓会展	絵画・彫刻・工芸の展示	775	
杉本鶴翠水墨画展	4/28～5/4	7	杉本鶴子	水墨画	656	
バンゲア。展 Vol.15	4/28～5/4	7	バンゲア。展	油彩、水彩、日本画、立体	971	
心豊かに趣味の水墨画千艸会展	5/6～5/10	5	千艸会	水墨画他(額、掛軸等)	912	
バードカービングと水彩画展	5/6～5/10	5	根占 政史	バードカービング40点 水彩画20点の展示	388	
第28回紅華会書作展	5/6～5/10	5	紅華会	かな書道作品 軸、額、パネル、巻子、帖など出品点数40～50点	437	
第68回示現会巡回熊本展	5/12～5/17	6	一般社団法人示現会熊本支部	平成27年国立新美術館で開催される第68回示現会展の作品より約60点を選び巡回展示する。合わせて本展に熊本県より出品された作品を同時展示する。 作品は油彩、水彩、版画である	5,528	一般 600円 大学生 400円 高校生以下無料
熊本県日本画協会展	5/19～5/24	6	熊本県日本画協会	日本画・水墨画 約200点	4,532	一般 300円 大・高校生 200円
宮崎静夫作品展	5/26～5/31	6	宮崎静夫	1970年頃からの作品「死者のために」デッサン、水彩、油彩など	2,975	
第3回ヒーリングアート展	5/26～5/31	6	ヒーリングアート実行委員会	人間の脳のはたらきによる本来的な創造する力を活かし、芸術的な生き方をする考えに基づいたヘルスアートの活動を通して制作された3才から80才位までの広い年齢層による絵画の展示(日本画、水彩、油彩他)	772	
神の鼓動・波野中江岩戸神楽写真展	5/26～5/31	6	永田敦彦	波野中江岩戸神楽の舞を主にした写真展 全紙サイズなどで約60～65点	1,683	
リビングカルチャーセンターはません校作品展	6/2～6/7	6	リビングカルチャーセンターはません校	リビングカルチャーセンターはません校で絵画、書道、手工芸などを受講している人と講師の作品を約300点を展示	793	
雅押花の会会員作品展「第16回火の国押花フェスタ」	6/2～6/7	6	雅押花の会	押し花額絵	859	
アート雅会員作品展「花と光のフェスタ」	6/2～6/7	6	アート雅	ガラスアート作品・シルエットアート作品・タイルクラフト作品・レカンフラワー作品・アートプリント作品	910	
第43回硯心展	6/9～6/14	6	硯心会	約40名 各1点の書作品	690	
ARTSCHOOL あとりえパリュエー展	6/9～6/14	6	アートスクールあとりえパリュエー	水彩画 パステル画 約100点展示	787	
第14回熊日本水墨画教室作品展	6/9～6/14	6	熊日本水墨画教室	水墨画 8～50号 約70点 水墨画掛軸 3点	782	
九州脊梁山地の情景写真展	6/16～6/21	6	フォトサークル脊梁	九州脊梁山地の四季折々を切り取った全紙50点 花(マクロの世界)16点	845	
第27回熊工会美術展	6/16～6/21	6	熊工会美術展実行委員会	作品 ・平面(油彩画、日本画、水彩画、水墨画、写真、デザイン、工芸作品等) ・立体(建築パースデザイン、工芸作品等) 40点の展示	772	
第30回記念 維熊篆会「書法篆刻展」	6/23～6/28	6	維熊篆会	篆刻・隷書・篆書作品展示	608	
加藤神社 錦絵と切絵展	6/23～6/28	6	加藤神社	錦絵 約50点 切絵 約20点 書状 清正公(2点) 忠広公(1点) 光正公(1点) 祭文 乃木希典直筆	1,526	
熊本独立作家展	6/23～6/28	6	熊本独立作家	油彩・アクリル(洋画) F100～F130号 ・24～26点	949	
武蔵野美術大学校友会熊本支部40周年記念展	6/30～7/5	6	武蔵野美術大学校友会熊本支部	油絵・水彩・日本画・彫刻・工芸・その他	1,248	
宮中千秋傘寿記念水彩画展	6/30～7/5	6	宮中千秋	水彩画	1,190	
第13回江原写友会写真展	6/30～7/5	6	江原写友会	全紙額にて全紙及び半切の写真90点の展示	637	
第26回国際文化交流会選抜茶掛け展	7/7～7/12	6	国際文化交流会	掛軸仕立ての書道展 様々なデザインの現代掛軸と伝統的な掛軸の書の展示	423	
大野郁子絵画教室25周年展	7/7～7/12	6	大野郁子	教室の在籍・卒業の生徒作品 油彩・水彩・アクリルなどの平面作品と立体や卒業生の活動中の作品を展示 大野の作品も展示 約80点	453	
第27回熊本の建築家作品展	7/7～7/12	6	公益社団法人日本建築家協会九州支部熊本会	熊本の建築家の作品を図面や写真でのパネル及び模型で展示	390	
第78回銀光展	7/14～7/20	7	銀光会	油彩画 水彩画 合計約240点	7,451	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
第19回書範選抜書道展	7/22～7/26	5	広深書道会	当会発行の月刊誌「書範」の誌友の中から選ばれた会員の書作品 大型(2尺×8尺)から小型まで約100点の展示	571	
清和条幅展・七夕展	7/22～7/26	5	清和書道会	条幅作品30点 七夕作品(半紙)600点 入賞以上の作品	674	
第37回養心書道展	7/22～7/26	5	養心書道会	日展会友・入選作家、熊日展入賞・入選作家、支泉全国師範他養心書道会会員の作品 展示作品の種類・2×8尺(額)・全紙(額)・半切(額・軸)・小作品(額・軸)	706	
ビビビの天鴻グループ展	7/28～8/2	6	ビビビの天鴻グループ書展	書作品100余点	1,227	
福島房雄絵画展 1998-2015	7/28～8/2	6	福島房雄	F100号油彩画～はがき大水彩画を展示 自作本の展示	626	
のびやかクラブ絵画展	7/28～8/2	6	のびやかクラブ	油彩・水彩 20名×2～3点	667	
第29回日洋展・九州熊本会場	8/4～8/9	6	一般社団法人日洋会	油彩・水彩・版画部門合わせて150点余りを展示 大きさはF80号～F150号くらい	4,494	一般・大学生 600円 高校生以下無料
第43回福岡教育大学書道科六県連合書作展	8/11～8/16	6	国立大学法人福岡教育大学	楷書・行書・篆書・隷書・仮名作品など様々な臨書作品・創作作品を約40点以上展示 大作も数多くある	499	
第31回熊本平和美術展	8/11～8/16	6	熊本平和美術展実行委員会	絵画・書・写真・手芸・工芸・押花絵など約100点	846	
第45回同光会書展	8/11～8/16	6	同光会	書の作品展 漢字・かな・漢字かな交じり ・小字数などバラエティーに富んだ作品内容	724	
第27回熊本県シルバー作品展	8/18～8/23	6	一般財団法人熊本さわやか長寿財団	日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸の6部門を展示	5,371	
第44回九州新象展	8/25～8/30	6	九州新象作家協会	平面・立体の美術作品 約50点 九州の新象作家協会会員と出品作家の作品、沖縄・関東・中部・関西・東北の招待作家の作品を展示	725	
第6回墨彩画無窮会展	8/25～8/30	6	墨彩画無窮会	水墨画、墨彩画にて、花鳥、山水画等を掛軸、額装にて50～60点ほど展示	744	
京都精華大学同窓会九州支部木野Q展	8/25～8/30	6	京都精華大学同窓会九州支部	京都精華大学卒業生及び大学関係の作品、資料の展示 絵画、立体、染色、織、ガラス、陶芸他	674	
第37回熊本県書道展	9/1～9/6	6	熊本書法文化振興会	書道の研究者・愛好者間の融和をはかり熊本書壇の水準向上と底辺拡大を目的とした書道展	1,534	
第43回熊本県書道連盟展	9/8～9/13	6	熊本県書道連盟	熊本県書道連盟会員による作品展示 役員60点 選抜会員50点 一般会員130点 計240点	2,114	
第70回熊本県美術協会展(県美展)	9/15～9/21	7	熊本県美術協会	日本画、版画、彫刻、工芸、デザイン、各部門ごとに会員・会友、一般入選者の作品を展示	6,216	一般・大学生 500円 高校生以下無料
81回東光展(熊本会場)	9/23～9/27	5	東光会熊本支部	大作 巡回作品 熊本作品 約150点 小品 巡回作品 熊本作品 約30点	6,929	一般 500円 高・大学生 300円 中学生以下無料
第57回書道愛好者展	9/29～10/4	6	日本の書道会	書道作品等の展示	409	
城心会書展 第40回展	9/29～10/4	6	城心会	中国の明時代の漢詩を漢字の各書体や調和体の作品を展示 会員50数名で60点くらい展示	458	
計		334			82,881	

分館（展示室1・2・3）

貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内容	入場者数	観覧料
熊本県総合博物館ネットワークオープニング記念企画展「再発見！くまもとの博物館」	10/3～11/5	29	熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課	「熊本県総合博物館ネットワーク」のオープニングイベントとして、県内各博物館と協力して主な所蔵品等を活用し、熊本の自然や文化などを紹介する企画展示 県の姉妹提携先であるモンタナ州ロッキー博物館と会場とを Web 回線で結び、ロッキー博物館の展示も紹介する	1,198	一般 300円 大学生 100円 高校生以下無料
岩合光昭写真展「ねこ歩き」	10/6～11/1	24	㈱テレビ熊本事業部	動物写真家岩合光昭氏が撮り続けた世界と、日本のネコの写真の展示 岩合氏が近年訪れた国々や日本のネコ、そして岩合家のネコと3章で構成	26,119	一般・大学生 1000円 高・中学生 800円 小学生以下無料
第15回熊本県水墨画協会展	11/3～11/8	6	熊本県水墨画協会	墨を主体とした水墨画 6号以上20号以下のアクリル使用額装のみの展示	2,301	
第51回熊本県水彩画会展	11/10～11/15	6	熊本県水彩画会	公募展であり、入選・入賞した作品と本会の会友・会員の作品合計約230点を展示 水彩画だけの展覧会である	6,290	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
「くまもと障がい者芸術展」及び「NHK ハート展」	11/17～11/23	7	くまもとハートウィーク実行委員会	「くまもと障がい者芸術展」障がい者が制作した絵画、書、陶芸、工芸品等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示 「NHK ハート展」全国の障がい者がつづった詩に各界の著名人がハートをモチーフに描いた絵などを添えた作品の展示	4,395	
第56回熊日写真展	11/17～11/23	7	㈱熊本日日新聞社事業局	県内の写真文化の振興と技術向上を目的に毎年開催 熊日賞の部98点 新人の部11点 計109点に招待作家作品を加えて展示 題材は自由で作品は板パネル仕上げ	1,973	
くまもと「描く力」2015 - 熊日美術公募展	11/25～12/6	11	㈱熊本日日新聞社事業局	県内在住者や県出身者を対象とした美術公募展 入選以上の作品約150点を展示	5,924	
第42回学生学童書道展	12/8～12/13	6	国際文化交流会	熊本県の小学生から高校生までの書作品	1,452	
第38回尚綱大学書道展	12/15～12/20	6	尚綱大学	漢字各書体及び、仮名の臨書・創作・做書や篆刻・刻字・漢字仮名交じりなどの約180点を額・パネル・軸・帖・卷子などに表装して展示 会期中に第10回尚綱大学高校生書道展の優秀作品の展示も行う	1,647	
第51回熊本県高等学校書道展	12/22～12/26	5	熊本県高等学校文化連盟書道部	熊本県内の高校生、各学校の書道担当者による作品の展示 内容は漢字の書 仮名の書 漢字仮名交じりの書による書道作品で多種多様バラエティに富んでいる 作品点数は高校生約250点 教師約50点を展示	1,642	
第18回玄泉全国書道展	1/5～1/11	7	玄泉書道会	日展会友・入選作家、玄泉成家・師範他の作品を展示 作品の種類は2×8尺（額）、2.6×6尺（額）、半切（軸）、小作品（軸） 他	1,733	
第69回熊日学童スケッチ展	1/5～1/11	7	㈱熊本日日新聞社事業局	各賞を受賞した小学生・中学生達の作品展示会	1,130	
第21回熊本デザイン専門学校卒業制作展	1/13～1/17	5	熊本デザイン専門学校	グラフィック・建築・インテリア・メディア映像・ファッション等のデザイン分野、学生卒業制作作品200点程度を展示	400	
第22回日本高校生デザイングランプリ作品展	1/13～1/17	5	熊本デザイン専門学校	デザイングランプリ上位入賞及び入選佳作作品を150点程度展示	304	
第35回尚綱大学卒業書作展	1/13～1/17	5	尚綱大学	本学書道コース4年生が4年間の集大成として卒業書作展を開催 学生作品・教職員作品あわせて約30点の作品を展示	410	
熊本大学教育学部美術科卒業・修了制作作品展	1/19～1/24	6	熊本大学教育学部美術科	油彩画などの絵画（約30点） 人物をモチーフとした彫刻（約10点） デザイン（約10点） 美術理論、美術教育論等に関する研究論文をパネル等を用いて掲示する	554	
熊本市立必由館高校芸術コース美術・書道系卒業制作展	1/19～1/24	6	熊本市立必由館高等学校芸術コース	平成27年度第13回熊本市立必由館高校芸術コース美術・書道系卒業制作展 ・美術系 3年生の卒業制作大作40点 デッサン・小作品約20点 賛助出品6点 ・書道系 3年生の卒業制作約40点 賛助出品約7点	1,138	
第13回くまもと子どもの美術展	1/26～1/31	6	熊本県図工・美術教育研究会	熊本県下11支部から選出された小・中学生の平面作品1400点以上を展示	4,056	
第26回手でみる造型展	1/26～1/31	6	熊本県文化協会	熊本県内の彫刻家、造形作家また県内の大学、短大、小、中、高校の児童・生徒の作品の展示 文字どおり手で触ってみる、そして感じ取っていただくユニークな展覧会である その他、盲学校等からの出品もある	1,006	
第27回大津高校美術コース卒業制作展 第68回陽美展	1/26～1/31	6	熊本県立大津高等学校美術コース	絵画・デザイン・立体・映像作品約100点を展示	1,821	
計		166			65,493	
合計		500			148,374	

分館（ギャラリー）

貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内容	入場者数	観覧料
「shokoと仲間展」	4/7～4/12	6	高村美恵子	NHKカルチャー教室内で制作した作品を展示 水彩画 油画等 F4～F50	571	
田川若菜作品展（絵画）	4/14～4/19	6	田川若菜	どうぶつの絵（水彩、クレパス、クレヨン、粘土細工）人物画や景色	574	
シェーンブルン絵画教室展	4/21～4/26	6	シェーンブルン絵画教室	透明水彩画と鉛筆アッサン 40点	1,055	
坂田榛「奥の細道・版画展」	4/28～5/4	7	坂田榛	木版画40～50点 資料など	1,827	
第37回虹の会版画展	5/6～5/10	5	虹の会	虹の会会員18名による新作版画の展示及び交流団体「きつつきの会」（竹田市）の作品展示も行う	766	
第3回示現会熊本支部公募展	5/12～5/17	6	一般社団法人 示現会熊本支部	第3回支部公募展入選作品約60点を展示 油彩、水彩、パステル、版画等の平面作品（水墨画を除く）	1,918	
尾崎輝武傘寿記念日本画個展	5/19～5/24	6	尾崎輝武	日本画 F20～F130号 約15点 SM～F10号 約20～25点 計35～40点	1,325	
アポア会展 熊本県薬剤師会美術同好会	5/26～5/31	6	熊本県薬剤師会美術同好会	油彩、水彩、写真、刺繍等	1,047	
サークル茜油彩展	6/2～6/7	6	サークル茜	約20名の会員の純具象の油彩画約50点（F50号以下）を展示 講師の賛助作品も展示	600	
甲佐絵画クラブ第35回展	6/9～6/14	6	甲佐絵画クラブ	油絵 水彩の6号～100号位までの人物、風景、静物の絵画約50点位の展示	543	
写団あけぼの会 第41回写真展「野の花」と「風景」	6/16～6/21	6	写団あけぼの会	野山に自生する「野の花」の接写を四つ切額入りにて約35点展示、「風景」写真を全紙額入りにて約20点展示	1,181	
還暦三人展	6/23～6/28	6	吉川博文	油彩画 アクリル画	1,084	
深川芳子展「絵画のような布を着る」	6/30～7/5	6	榑伊万里	ろうけつ染めの布やろうけつ染めの布を使った作品の展示等	586	
花の会「くまもと」写真展	7/7～7/12	6	花の会「くまもと」	花写真 全紙～半切 11名×（3点～5点）＝約45点	889	
第78回銀光展	7/14～7/20	7	銀光会	油彩画 水彩画 合計約240点	2,425	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
写真展「四季を訪ねて」	7/22～7/26	5	太田国弘	四季折々に自然の移り変りを全紙30点全倍5点程度展示	772	
熊本デジカメ倶楽部写真作品展	7/28～8/2	6	熊本デジカメ倶楽部	熊本デジカメ倶楽部会員が撮影した県内外の風景や祭り、ポートレート等いろいろなジャンルの写真を展示	598	
第29回日洋会・九州熊本会場	8/4～8/9	6	一般社団法人 日洋会	油絵・水彩・版画部門合わせて150点余りを展示 大きさはF80号～F150号程度	1,220	一般・大学生 600円 高校生以下無料
球面9D映像（特許）デザイン写真個展	8/11～8/16	6	百々亀利雄	特許球面映像スクリーンで宇宙映像プロジェクター2台～3台使用 他写真 昔の出版社社本の装丁（デザイン）展示 グラフィックデザイン展示（広告）イラストレーション サーフィン（ハワイのプロ大会）ビデオ上映（10タイトル）	352	一般 500円
第27回日本水彩画会熊本支部展	8/18～8/23	6	日本水彩画会熊本支部	水彩画約30点展示 日本水彩画会熊本支部員による年1回の作品発表	1,867	
若杉昇個展	8/25～8/30	6	若杉昇	油彩画 風景・人物・静物（サムホール～100号）25～30点 デッサン 5～6点 計 30～36点	704	
第37回熊本県書道展	9/1～9/6	6	熊本書法文化振興会	書道の研究者・愛好者間の融和をはかり熊本書壇の水準向上と底辺拡大を目的とした書道展	635	
第7回岩本武士（竹田）書作展	9/8～9/13	6	岩本武士	漢字、調和体、かな、刻字、書画作品など約40点	604	
第70回熊本県美術協会展（県美展）	9/15～9/21	7	熊本県美術協会	日本画 彫刻 版画 工芸 デザイン 各部門の会員 会友 一般入選者の作品を展示	1,535	一般・大学生 500円 高校生以下無料
81回東光展（熊本会場）	9/23～9/27	5	東光会熊本支部	大作 巡回作品 熊本作品 約150点 小品 巡回作品 熊本作品 約30点	2,354	一般 500円 高・大学生 300円 中学生以下無料
第7回パソコン・アート展	9/29～10/4	6	熊本パソコン・アート倶楽部	家庭用のパソコンを使った手法で水彩画や淡彩画風な絵を作成している 熊本の名所旧跡や季節をテーマにした作品の展示 ①額入り A1サイズ20点 ②額入り A3サイズ20点 ③色紙・絵葉書等20点	468	
第20回キヤノンフォトクラブ熊本写真展	10/6～10/12	7	キヤノンフォトクラブ熊本	写真70点	1,600	
第8回輪の会作品展	10/14～10/18	5	輪の会	油彩 水彩 版画 水墨画 25点	580	
漣会日本画展	10/20～10/25	6	漣会	日本画家 相嶋崇人先生教室14～15名のグループ発表会	1,159	
第23回熊日日本画教室作品展（熊日生涯学習プラザ）	10/27～11/1	6	熊日日本画教室	日本画	952	
第15回熊本県水墨画協会展	11/3～11/8	6	熊本県水墨画協会	墨を主体とした水墨画 6号以上20号以下のアクリル使用額装のみの展示	1,282	
第51回熊本県水彩画会展	11/10～11/15	6	熊本県水彩画会	公募展であり、入選・入賞した作品と本会の会友・会員の作品合計約230点を展示 水彩画だけの展覧会である	2,050	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
「くまもと障がい者芸術展」及び「NHKハート展」	11/17～11/23	7	くまもとハートウィーク実行委員会	「くまもと障がい者芸術展」障がい者が制作した絵画、書、陶芸、工芸品等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示 「NHKハート展」全国の障がい者がつづった詩に各界の著名人がハートをモチーフに描いた絵などを添えた作品の展示	2,186	
くまもと「描く力」2015 - 熊日美術公募展 -	11/25～12/6	11	熊本日日新聞社	県内在住者や県出身者を対象とした美術公募展 入選以上の作品約150点を展示	1,997	
第42回学生学童書道展	12/8～12/13	6	国際文化交流会	熊本県の小学生から高校生までの書作品	476	
木村鉄郎展	12/15～12/20	6	木村鉄郎	鮮やかな色彩で細密に描いた油彩画 4号から40号まで約30点	608	
第51回熊本県高等学校書道展	12/22～12/26	5	熊本県高等学校文化連盟書道部	熊本県内の高校生、各学校の書道担当者による作品の展示 内容は漢字の書 仮名の書 漢字仮名交じりの書による書道作品で多種多様バラエティに富んでいる 作品点数は高校生約250点 教師約50点を展示	693	
第18回玄泉全国書道展	1/5～1/11	7	玄泉書道会	日展会友・入選作家、玄泉成家・師範他の作品を展示。 作品の種類は2×8尺（額）、2.6×6尺（額）、半切（軸）、小作品（軸）他	937	
第35回高綱大学卒業書作展	1/13～1/17	5	高綱大学	本学書道コース4年生が4年間の集大成として卒業書作展を開催。学生作品・教職員作品あわせて約30点の作品を展示	345	
熊本大学教育学部美術科在科生展	1/19～1/24	6	熊本大学教育学部美術科	油絵等を含む絵画（約10点） 彫塑作品（約5点） 工芸作品（約2点） パネル（約6点）	625	
第27回大津高校美術コース卒業制作展 第68回陽美展	1/26～1/31	6	熊本県立大津高校美術コース	絵画・デザイン・立体・映像作品約100点を展示	1,200	
計		251			44,190	

分館（展示室1・2・3ギャラリー）

合計

		751			192,564	
--	--	-----	--	--	---------	--

本館・分館 総合計

		801			214,023	
--	--	-----	--	--	---------	--

■収蔵品の概要

熊本県立美術館の収集方針・収集計画

熊本県立美術館は、古今東西の美術品等の展示・収集・保存・研究等を目的に設置された総合美術館として、(1)日本及び東洋の古美術、(2)日本の近・現代美術、(3)西洋美術についての収集を、次の各項目の方針等に基づいてすすめる。

収集にあたっては、①散逸あるいは滅失の危険のある、熊本県内の美術品・文化財等の収集及び保存、②本県出身あるいは本県ゆかりの作家等の作品など、熊本県の美術史の流れを展望するための美術品の収集、③世界的な視野で美術の流れを広く展望することのできる作品の収集について、特に留意するものとする。

1 日本および東洋の古美術

古代から近世に至る熊本の美術・文化・歴史の流れを展望できるコレクションの形成を目指す。

- (1) 古代・中世の熊本にゆかりのある美術品
 - ①彫刻（仏神像など）
 - ②絵画（仏画など）
 - ③工芸品（染織品や能道具、刀剣など）
 - ④書蹟・墨蹟
- (2) 近世の熊本にゆかりのある美術品
 - ①絵画（御用絵師や文人などの作品）
 - ②工芸品（八代焼・小代焼などの陶磁器、刀剣や刀装具などの金工品、漆芸品、皮革・染織品など）
 - ③書蹟・墨蹟
 - ④加藤家・細川家ゆかりの美術品や資料
- (3) 熊本の美術・文化・歴史に影響を与えた作家・人物・地域にゆかりの美術品や資料
- (4) 熊本の美術・文化・歴史の展開を鑑賞・検証するために有効な資料

2 日本の近・現代美術

本県を代表する作家の作品を核に、日本の近・現代美術史を体系づけるコレクションおよび熊本美術史を体系化するコレクションの形成を目指す。

- (1) 熊本ゆかりの作家による近・現代洋画・日本画・版画・工芸・彫刻・デザイン・写真等の作品や資料
 - ※なお、本県を代表する作家に関しては、デッサン・スケッチブック・書簡などの資料に関しても「研究資料」として積極的に収集を行うものとする。
 - ※浜田知明作品に関しては、全作品の収集を目指す。
- (2) 熊本を代表する近・現代作家に大きな影響を与えた作家の作品
- (3) 近・現代美術史に大きな足跡をのこした作家による作品

- (4) 当館における既存のコレクションを拡充・補完する上で必要な作品や資料
 - ①今西コレクションの近代版画・工芸・人形
 - ②細川コレクションの近代洋画・日本画
 - ③その他一括して収集されたコレクション
- (5) 日本の近・現代版画
 - ①近代版画の動向を示す作品
 - ②戦後美術の版画表現に重要な足跡を残した版画家の作品
 - ③今日の美術における版画表現の動向を示す作品
 - ④上記の作品に関連する資料

3 西洋美術

フランスの近代絵画、西洋版画（古典～近代～現代）、近・現代彫刻の作品を核に、西洋美術コレクションの体系化を目指す。

- (1) フランスの近代絵画
 - ①印象派と19世紀フランス絵画
印象派やその周辺、アカデミー派（サロン派）など、19世紀フランス絵画の局面を紹介する作品収集を図り、ルノワール等の所蔵品を補完する作品
 - ②エコール・ド・パリと藤田嗣治（レオナルド＝ツグハル・フジタ）
エコール・ド・パリやその周辺の動向など、20世紀前半のフランスを舞台に活動した芸術家たちの系譜と交流の軌跡を辿る作品。特に本県とゆかりの深い藤田嗣治（レオナルド＝ツグハル・フジタ）は重点的収集を目指す。
- (2) 西洋版画の系譜の体系化
 - ①16世紀から18世紀までの古典版画（Old Master Print）
 - ②19世紀から20世紀前半までの近代版画（Modern Print）
 - ③20世紀後半以降の現代の版画動向を示す作品（Contemporary Print）
- (3) 近・現代の西洋彫刻
 - ①近代フランスの彫刻
ロダン以降の近代彫刻史に大きな足跡を残した彫刻家の作品
 - ②現代の彫刻
20世紀後半以降の現代彫刻の動向を展望することのできる作品
- (4) 上記の項目に関連の深い優れた西洋美術の作品や資料

4 優れた質と内容を有し、纏まった形で収集されたコレクション

□平成 27 年度美術品収集品目

■購入作品（平成 27 年度）

	作品名	作者名	種別	寸法(cm)	制作年
1	熊本城図	赤星 閑意	掛幅装 絹本着色	縦 62.0 横 112.0	明治時代初期(19世紀)
2	裁縫道具のある静物	藤田嗣治(レオナルド＝ツグハル・フジタ)	多色刷り銅版画・紙	26.6 × 34.4	1930 年

■寄贈作品（平成 27 年度）

	作品名	作者名	種別	寸法(cm)	制作年
1	三宅家文書 ①《明智光秀書状》 ②《細川ガラシャ消息》	明智光秀 細川ガラシャ	紙本墨書	① 14.1 × 39.0 ② 33.3 × 51.1	①永禄13年(1570)4月20日 ②桃山時代(16世紀)
2	細川忠利像	矢野吉重	絹本着色・掛幅装	101.0 × 50.5	寛永18年(1641)頃
3	啓室像	矢野吉重	絹本着色・掛幅装	74.2 × 27.5	江戸時代前期
4	春	坂本善三	油彩・キャンバス	117.0 × 90.7	1934(昭和9)年-1936(昭和11)年
5	カッパドキア追想	浜田知明	ボールペン、フェルトペン、水彩、鉛筆・紙	36.5 × 51.5	1999(平成11)年
6	忘れえぬ顔 B	浜田知明	ボールペン、鉛筆・紙	27.8 × 30.8	2008(平成20)年
7	夜行軍、雨	浜田知明	鉛筆・紙	35.5 × 47.8	2008(平成20)年
8	夜行軍、山を行く砲兵隊	浜田知明	ボールペン、水彩・紙	30.8 × 36.2	2008(平成20)年
9	山を行く砲兵隊	浜田知明	ボールペン、鉛筆・紙	29.5 × 37.0	2013(平成25)年
10	腐っていく兵士	浜田知明	ブロンズ	7.7 × 22.5 × 36.0	2014(平成26)年
11	会者定離 A	浜田知明	ブロンズ	33.5 × 24.0 × 22.5	2015(平成27)年
12	会者定離 B	浜田知明	ブロンズ	34.2 × 36.0 × 17.2	2015(平成27)年

■収蔵品一覧表(平成28年3月31日現在)

区 分	県 有 美 術 品									寄 託 品			合 計			
	購 入			寄 贈			小 計			26年度 までの 寄 託	27年度 寄 託	小 計	26年度 までの 計	27年度 計	計	
	26年度 までの 購 入	27年度 購 入	小 計	26年度 までの 寄 贈	27年度 寄 贈	小 計	26年度 までの 計	27年度 計	小 計							
日本 古美術	絵 画	182	1	183	293	2	295	475	3	478	265		265	740	3	743
	書 跡	201		201	176	1	177	377	1	378	158		158	535	1	536
	彫 刻				1		1	1		1	28		28	29		29
	工芸(陶磁)	104		104	67		67	171		171	20		20	191		191
	工芸(その他)	8		8	226		226	234		234	704		704	938		938
	考 古										9		9	9		9
	そ の 他				4		4	4		4	6		6	10		10
	計	495	1	496	767	3	770	1,262	4	1,266	1,190		1,190	2,452	4	2,456
日本 近現代	油 彩 画	115		115	416	1	417	531	1	532	15		15	546	1	547
	版 画	275		275	592		592	867		867	4		4	871		871
	デッサン	45		45	282		282	327		327	2		2	329		329
	彫 刻	69		69	25	3	28	94	3	97	4		4	98	3	101
	工 芸	105		105	112		112	217		217	1		1	218		218
	日本画	176		176	156		156	332		332	17		17	349		349
	水彩画	16		16	105		105	121		121	4		4	125		125
	そ の 他	2		2	92	5	97	94	5	99				94	5	99
計	803		803	1,780	9	1,789	2,583	9	2,592	47		47	2,630	9	2,639	
東 洋	絵 画	10		10	1		1	11		11	1		1	12		12
	書 跡	2		2	2		2	4		4				4		4
	彫 刻				1		1	1		1	1		1	2		2
	工 芸	12		12	12		12	24		24				24		24
	考 古				110		110	110		110				110		110
	計	24		24	126		126	150		150	2		2	152		152
西 洋	油 彩 画	10		10	3		3	13		13	3		3	16		16
	版 画	213	1	214	55		55	268	1	269				268	1	269
	デッサン	2		2	1		1	3		3				3		3
	彫 刻	8		8	1		1	9		9				9		9
	水彩画	4		4	4		4	8		8				8		8
	計	237	1	238	64		64	301	1	302	3		3	304	1	305
合 計	1,559	2	1,561	2,737	12	2,749	4,296	14	4,310	1,242		1,242	5,538	14	5,552	

□平成 27 年度美術品貸出記録（館蔵品）

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
横山大観	焚火	奈良県立美術館	奈良礼賛—岡倉天心、フェノロサが愛した近代美術と奈良の美—	2015・4/11～5/24
春口光義	変容—室内 女系家族—大	春口光義	春口光義 幻想表現「思考のはらわた」展（福岡市美術館）	2015・5/12～5/17
宮崎静雄	厨房静物	宮崎久子	宮崎静夫 作品展 （熊本県立美術館分館）	2015・5/26～5/30
	ドラム缶・錆			
	ドラム缶・男			
	聲			
	喇叭			
	黒点			
宮本武蔵	宮本武蔵像	公益財団法人 永青文庫	剣豪 宮本武蔵の水墨画 （羽田空港ディスカバリーミュージアム）	2015・7/11～10/4
	独行道			
	五方之太刀道			
東山魁夷	晴れゆく湖	肥後の里山ギャラリー	熊本の水と緑の風景	2015・7/13～8/22
	静けき朝			
	夕静寂			
牛島憲之	水郷風景			
	風景（水門）			
	穂麦の頃			
	秋川			
川本末雄	月明			
	流れ			
田代順七	阿蘇外輪			
	新緑の阿蘇			
	夏の天草			
松岡正直	北向山			
西孝親	清涼			
相島崇人	凍漓			
鈴木尚	緑地に降る雨			
山口輝也	昼（空と水）			
無款	若衆図	福岡市美術館	肉筆浮世絵の世界	2015・8/8～9/20
無款（懐月堂派）	立美人図			
無款	忠臣蔵七段目図			
無款（鳥居派）	浮絵座敷水遊び図			
上柿芳龍	追羽美人図			
宮川一笑	夕涼み美人図			
石川豊信	美人三番叟図			
石川豊信	萬歳図			
川又常正	見立浄瑠璃姫と牛若丸図			
川又常正	階下遊女図			

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
鳥居清重	佐野川市松立姿図	福岡市美術館	肉筆浮世絵の世界	2015・8/8～9/20
磯田湖龍斎	花魁道中図			
歌川国峰	潮干狩図			
勝川春好	五代目団十郎円窓景清図			
歌川国明	月下美人図			
歌川豊春	帰り路図			
窪俊満	月萩図			
窪俊満	六歌仙図			
喜多川歌麿	四季画賛図（寄書）			
鳥文斎栄之	楊貴妃牡丹図			
歌川豊国	松本幸四郎仁木弾正図			
歌川豊国	遠目鏡美人図			
歌川豊広	謡曲隅田川図			
喜多川藤麿	母子採芒図			
葛飾北斎	鍾馗図			
菱川宗理	雪中美人図			
蹄斎北馬	橋上群衆図			
八島岳亭	女三の宮図			
菊川英山	桜下芸妓図			
溪斎英泉	花魁と禿図			
長谷川雪旦	隅田川団十郎船遊びの図			
紫光斎北一	雨乞小町図			
歌川国芳	二枚櫛花魁立姿図			
歌川国芳	鍾馗図			
歌川広重	立美人図			
東南西北雲	妓楼花魁図			
歌川国直	芸妓と箱廻しの図			
勝川春亭	懐紙を持つ芸妓図			
玄珠斎栄暁	時鳥と芸妓図			
玄珠斎栄暁	閻魔庁図			
河鍋暁斎	牛若丸図			
豊原国周	内藤正挙肖像図			
海老原喜之助	凧	熊本県博物館ネットワークセンター	熊本県総合博物館ネットワーク オープニング記念企画展 (熊本県立美術館分館)	2015・10/3～11/5
	雲の切れ間			
宮川一笑	南風先生像	式年遷宮記念 神宮美術館	永遠の煌めき 一次世代へつなぐ心と技一	2015・10/9～11/10
オーブリー・ピアズリー	サロメ 月の中の女	大分県立美術館	神々の黄昏	2015・10/31～ 2016・1/24
	サロメ タイトルページのためのデザイン			
	サロメ ダンサーへの報酬			
	サロメ 孔雀のスカーフ			
福田太華	白衣観音図			
	魚籃観音図			

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
月岡雪鼎	西王母図	大分県立美術館	神々の黄昏	2015・10/31～ 2016・1/24
紫光斎北一	雨乞小町図			
上村隆一	黒犬のいる町	肥後の里山ギャラリー	上村隆一展 —子どものいる風景—	2016・2/22～3/26
	森の気配			
	集合離散			
	白い素描			
平田郷陽	姥と金太郎	一般社団法人 犬飼記念美術館	桃の節句の楽しみ —ひな飾りと平田郷陽の人形展—	2016・2/27～3/31
	雪の白			
	明月			
	村童			
	陽ざし			
	瑞鳥			
	冬麗			
	嬉戯			
	夢			
	鷺の精			
十四代細川護久 夫人・宏子 所 用	白地松竹梅文様打掛	公益財団法人 永青文庫	桃の節句 細川家のお雛さま	2016・2/27～4/10
	浅葱地御所解文様小袖			
十六代細川護立 長女・中島敏子 所用	御所人形 金時			
	御所人形 汐汲			
	御所人形 車引き			
	雛人形・雛道具			
	九曜紋唐草蒔絵雛調度			
	梨地桜唐草蒔絵雛調度			
	厨房雛道具 ガラス・磁器 食器合			
田中青坪	花に寄る少女			

■購入図書目録 [平成 27 年度]

<購入図書>※備品購入費による

書名	編・著者名	発行所	発行年
日本史			
坂本竜馬全集（全 1 巻）	宮地佐一郎 / 編	光風社出版	1988 年
勝海舟全集（全 21 巻，別巻全 2 巻）	大口勇次郎，松本三之介， 勝部真長 / 編	勁草書房	1970- 82 年
東洋古美術			
中国絵画総合図録 3 編 第 3 巻 （ヨーロッパ編）	板倉聖哲，小川祐充 / 編	東京大学出版会	2015 年

<友の会から寄贈された図書>

書名	編・著者名	発行所	発行年
日本近世の領国地域社会	稲葉継陽，今村直樹 / 著	吉川弘文館	2015 年
テキストとイメージを編む	林洋子， クリストフ・マルケ / 編	勉誠出版社	2015 年
社会とつながる美術史学	太田智己 / 著	吉川弘文館	2015 年
狩野探幽 御用絵師の肖像	榊原悟 / 著	臨川書店	2014 年
日欧美術交流史論	岡泰正 / 著	中央公論美術出版	2013 年
侯爵細川家所蔵洋書展覧会目録			1930 年
刀剣目録	本間順治 / 編	細川護立家政所	1938 年
豊臣秀吉の古文書	曾根勇二，堀新， 山本博文 / 編	柏書房	2015 年

委員会等名簿

□熊本県立美術館協議会委員名簿

平成 28 年 3 月 31 日現在

氏 名	役 職 名
内 堀 公 靖	県高等学校教育研究会美術、工芸部会理事長（県立御船高等学校教諭）
河 島 一 夫	熊本県立美術館友の会世話人
小 林 孝 夫	熊本県美術協会副会長
副 島 隆	株式会社 お菓子の香梅代表取締役会長
曾 田 豊 子	画家
野 中 志 真	熊本県 PTA 連合会副会長
福 島 絵 美	株式会社 熊本放送報道制作局アナウンス部 部長代理
藤 井 宥 貴子	熊本市男女共同参画センターはあもにい館長（有限会社 ミューズプランニング代表取締役）
内 野 幸 喜	前熊本県議会教育警察常任委員会委員長
◎ 松 井 葵 之	八代市立博物館未来の森ミュージアム館長
丸 野 香 代子	株式会社 談 代表取締役
宮 崎 不 二男	熊本県図画工作・美術教育研究会会長（熊本市立桜木東小学校校長）

（五十音順、◎委員長）

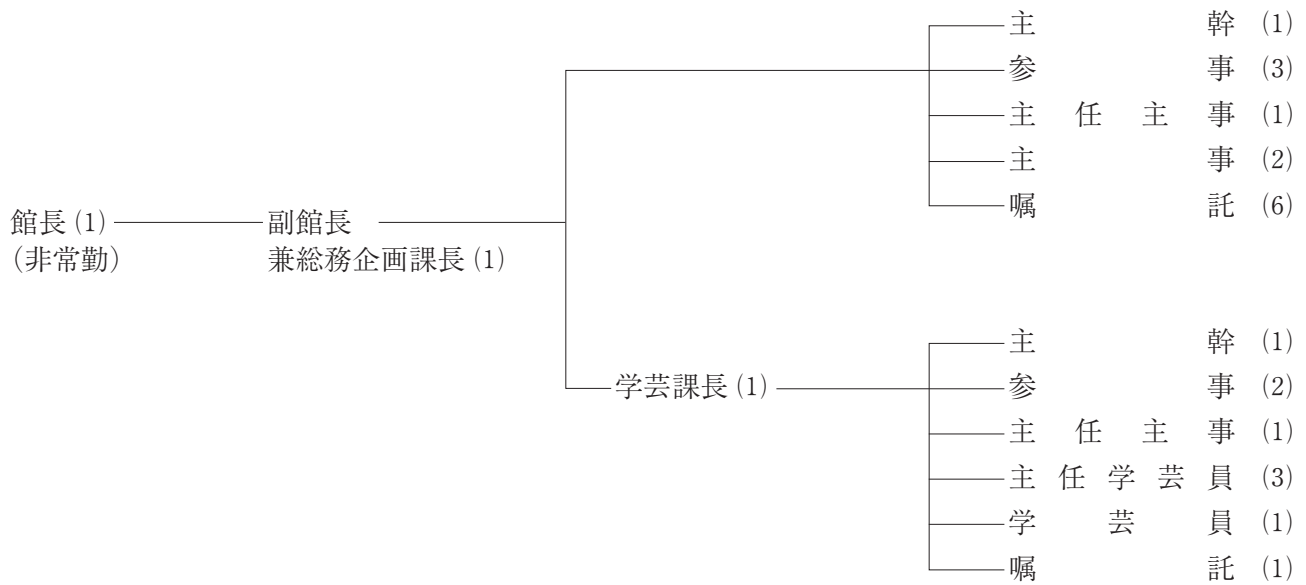
□熊本県立美術館収集委員会委員名簿

平成 28 年 3 月 31 日現在

氏 名	役 職 名
石 原 昌 一	熊本県美術家連盟会長、彫刻家、熊本大学名誉教授
植 野 かおり	公益財団法人立花家史料館長
桜 井 武	熊本市現代美術館長、美術評論家連盟会員
◎ 島 田 真 祐	公益財団法人島田美術館長
中 西 真美子	崇城大学芸術学部職員
西 村 勇 晴	北九州市立美術館長
松 本 誠 一	美術史家、佐賀県立美術館副館長
森 山 秀 子	公益財団法人石橋美術館学芸課長

（五十音順、◎委員長）

□熊本県立美術館の機構及び職員数（平成 28 年 3 月 31 日現在）



□美術館職員名簿（平成 28 年 3 月 31 日現在）

氏名	職名	氏名	職名
横田 堅	館長（非常勤）	石丸美穂子	主任主事
前田 哲明	副館長兼総務企画課長	林田 龍太	主任学芸員
矢野 靖浩	主幹	金子 岳史	主任学芸員
富永 文昭	参事	才藤あずさ	主任学芸員
小原美奈子	参事	宮川 聖子	学芸員
中村 幸宏	参事	愛甲 未菜	嘱託
福島由佳里	主任主事	岩木 美里	嘱託
林田百合恵	主事	赤星 博	嘱託
杉本 美紀	主事	宮下 愛	嘱託
村上 哲	学芸課長	上島 久美	嘱託
有木 芳隆	主幹	川元 幸	嘱託
井上 正敏	参事	高森 莊子	嘱託
山田 貴司	参事		

■その他

□熊本県立美術館友の会の活動

美術館友の会は、県立美術館の活動を援助し、美術館の充実と地域文化の向上に寄与することを目的として、昭和50年5月に発足した。平成27年は、設立40周年となり、設立40周年記念事業や祝賀会などを開催した。

友の会は県立美術館開館以来美術関連図書などを寄贈し調査研究等に貢献してきている。会員は、「会員証」で、現在は県立美術館をはじめとする県内7館において開催される展覧会を各1回鑑賞することができる。また、県立美術館所蔵図書の閲覧ができるほか、機関誌「View」や友の会のお知らせを受け取ることができる。

特典

- ① 次の美術館に無料入場できる。(但し、1展覧会1回。展示替の場合はもう1回入場できる。)
熊本県立美術館、熊本市現代美術館、坂本善三美術館、つなぎ美術館、不知火美術館、島田美術館、芦北町立星野富弘美術館
- ② 熊本県立美術館の展覧会図録の開催期間内購入 2割引。
- ③ 熊本県立美術館の本館・分館喫茶室 割引有。
- ④ 友の会企画の国内・海外旅行に参加できる。

会員数 (平成28年2月現在) 695名(会員証発行:831枚)

A会員	96組	会費	10,000円	(会員証2枚 本人1枚、家族用1枚)
B会員	563名		5,000円	(会員証1枚 本人)
C会員	10社		30,000円以上	(会員証5枚 会社名義)
D会員	26名		3,000円	(学生会員)

活動状況

- ・機関誌「View」4回発行(美術館との共同編集)
- ・図書購入・寄贈
『日本美術全集(4、6、8、12、17巻)』、『美術(史)啓蒙の200年』、『人形芸五十年』、『いとも美しき西洋版画の世界・図録』、『木村千鶴子作品集』。計9冊
- ・海外美術館巡りの旅 「ウィーン・プラハ美術館巡りの旅」 ・期間:11月9日~11月16日(7泊8日間)
ウィーン美術史美術館、バルベデーレ宮殿、アルベルティーナ国立版画素描館、オーストリア国立造形美術アカデミー美術館、シェーンブルク宮殿、ザルツブルグ・ミラベル宮殿、モーツアルトの生家、プラハ城、聖ヴィート教会、プラハ国立美術館、カレル橋、など。
- ・国内美術館巡りの旅 「京都・神戸・姫路城3日間の旅」 ・期間:10月2日~4日(2泊3日)
京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市立美術館、平等院鳳凰堂、大阪東洋陶磁美術館、神戸市立博物館、兵庫県立美術館、姫路城など。
- ・設立40周年記念事業の一環として、熊本県立美術館と共催で「戦後70年記念 浜田知明のすべて」を開催。
- ・「設立40周年記念パーティ」を実施(11月24日)。
- ・次年度会員拡大に向けて「熊本県立美術館友の会」案内チラシ(A4両面カラー)の作成配布

平成27年度役員

代表世話人	福田 稠
副代表世話人	平井勝典(事務局)、松木良介
監 事	池田耕一、河野景治
世 話 人	横田堅、坂田 燦、河島一夫、河島美智奈、板井栄雄、瀧上斎、二子石義之、浜砂ルイ子、高田浩子、村上了一、小坂 肇、林田 勉、木下修、大森健弘、森本清子、井上正敏、岡田直幸
名誉世話人	樋口欣一、芹川光行

□美術館案内

熊本県立美術館本館

Kumamoto Prefectural Museum of Art

所在地：熊本市中心区二の丸2番 〒860-0008

Tel 096-352-2111 Fax 096-326-1512

開館時間：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）

交通案内：バス／交通センターから徒歩15分

またはセンターで熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、徒歩3分

市電／「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、徒歩15分

JR／熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城二の丸駐車場」下車、徒歩3分

上熊本駅からタクシーで10分

熊本空港／空港バスで交通センターへ。センターから徒歩15分

またはセンターで熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、徒歩3分

駐車場／二の丸駐車場（有料）、三の丸駐車場（有料）

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始 他

熊本県立美術館分館

Kumamoto Prefectural Museum of Art, Chibajo Branch

所在地：熊本市中心区千葉城町2-18 〒860-0001

Tel 096-351-8411 Fax 096-351-8566

開館時間：火曜～金曜／午前9時30分～午後6時30分（入館は午後6時まで）

土日祝日・休日／午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）

交通案内：バス／「市役所前」下車、徒歩5分

または熊本城周遊バスで「県立美術館分館横」下車

市電／「熊本城・市役所前」下車、徒歩5分

休館日：月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）、年末年始 他

インターネットアドレス

<http://www.museum.pref.kumamoto.jp>



平成 27 年度 熊本県立美術館年報

発行日 平成 28 年 9 月 15 日

発行者 熊本県立美術館

〒860-0008 熊本市中央区二の丸 2 番
TEL (096) 352-2111 FAX (096) 326-1512

印刷所 株式会社 協和印刷

発行者：熊本県
所 属：熊本県立美術館
発行年度：平成 28 年度